

平成28年度

# 鹿児島学習定着度調査結果及び対策

[平成29年1月調査]



平成29年5月

鹿児島市教育委員会

# 目 次

I	平成28年度鹿児島学習定着度調査結果及び対策の見方	1
II	調査の概要	2
III	各教科の平均通過率及び結果概要（基礎・基本及び思考・表現）	3
IV	各教科の結果分析（基礎・基本及び思考・表現）	
1	国語	4
2	社会	7
3	算数・数学	10
4	理科	13
5	英語	16
V	各教科の設問ごとの正答数、誤答数、無答数（県・市）	19
VI	学習状況調査	24
VII	活用する力を育成する授業改善のために	29

# I 平成28年度鹿児島学習定着度調査結果及び対策の見方

本調査の結果及び対策は、鹿児島県教育委員会が平成29年1月に実施した鹿児島学習定着度調査における鹿児島市に関するものです。

については、各学校において、本冊子を活用し、本市全体の状況を把握するとともに、全市的な傾向との比較・分析などを通して自校の課題を明確にし、今後の個に応じたきめ細かな指導や問題解決的な学習活動など、教員の指導方法の工夫や児童生徒の学習状況の改善を図ってください。

## 1 本報告書の構成について

概要は、次のような構成になっています。

I	平成28年度鹿児島学習定着度調査結果及び対策の見方
II	調査の概要
III	各教科の平均通過率及び結果概要（「基礎・基本」及び「思考・表現」）
IV	各教科の結果分析（「基礎・基本」及び「思考・表現」）
V	各教科の設問ごとの正答数、誤答数、無答数（県・市）
VI	学習状況調査
VII	活用する力を育成する授業改善のために

## 2 本概要の活用について

### (1) 調査の目的や実施の概要を知りたいとき

「II 調査の概要」（2ページ）をご覧ください。

調査の趣旨・目的や対象、実施の方法等について説明してあります。

### (2) 各教科の平均通過率や結果の概要、全体的な今後の対策について知りたいとき

「III 各教科の平均通過率及び結果概要（基礎・基本及び思考・表現）」（3ページ）をご覧ください。

### (3) 各教科の学力の概要を知りたいとき

「IV 各教科の結果分析」（国語4ページ、社会7ページ、算数・数学10ページ、理科13ページ、英語16ページ）の「(1) 全体」をご覧ください。

小・中学校とも、実施した教科の通過率の平均を「全体」、「基礎・基本」、「思考・表現」について、学年ごとに示してあります。なお、学年ごとの通過率や教科別の通過率を比較するときには、設問内容等が異なるため単純な比較ができないことに十分留意してください。

### (4) 各教科の学力状況を基礎・基本及び思考・表現別に詳しく知りたいとき

(2)で示したページについて各教科の「(2) 基礎・基本」及び「(3) 思考・表現」をご覧ください。実施した教科の各設問を「基礎・基本」及び「思考・表現別」に通過率の平均を示してあります。「(2) 基礎・基本」については内容・領域別に、「(3) 思考・表現」については県が示す思考・表現1～3の内容別に、学年毎に分析をしました。また、全体を通して特に課題となった設問の分析と対策を示してあります。

### (5) 各教科の設問ごとの正答数や通過率などを知りたいとき

「V 各教科の設問ごとの正答数、誤答数、無答数（県・市）」（19ページ）をご覧ください。小・中学校とも、実施した教科の各設問ごとに鹿児島市の通過率及び無答率の平均を示してあります。通過率が低い、または、無答率が高い等の課題のある設問には太線で囲んであります。

### (6) 児童生徒の学習に関する意識や学び方などの学習状況を知りたいとき

「VI 学習状況調査」（24ページ）をご覧ください。

小・中学校とも、実施した各設問ごとに市及び県の児童生徒が回答した割合を示してあります。

### (7) 今後、活用する力を育成する授業改善について知りたいとき

「VII 活用する力を育成する授業改善のために」（29ページ）をご覧ください。

## 3 本書に使われている用語について

### ・「平均通過率」

各設問ごとに、正答の児童生徒数を調査実施児童生徒数で除したものを「通過率」とし、その平均を「平均通過率」としてあります。

（例：調査実施児童生徒数100人、設問が5つある教科の場合）

設問番号	1	2	3	4	5
正答した児童生徒の数(人)	65	80	75	55	85
調査実施児童生徒数(人)	100	100	100	100	100
通過率(%)	65	80	75	55	85

→合計360

→合計500

各設問ごとの通過率

$360 \div 500 =$

**72(%) (平均通過率)**

## Ⅱ 調査の概要（平成28年度鹿児島学習定着度調査実施要項から抜粋。2-(3)は本市データ）

### 1 趣旨・目的

学習指導要領において身に付けることが求められている基礎的・基本的な知識・技能や思考力・判断力・表現力等に関する学力状況を把握するとともに、児童生徒の学習に関する意識や学び方などの学習状況を把握する。

また、各学校は全県的な傾向との比較・分析などを通じて、自校の課題を明確にし、問題解決的な学習活動を取り入れるなど教員の指導方法改善を図るとともに、児童生徒の学力向上を図る。

### 2 対象学年、学級等

- (1) 県内の公立小学校第5学年、中学校第1、2学年の全児童生徒を調査対象とする。

ただし、複式学級を有する学校においては、履修していない内容を調査から除外して実施する。なお、小・中学校における特別支援学級の児童生徒については、該当学年の学習内容を履修していない教科・内容を調査から除外して実施する。

- (2) 特別支援学校においては、該当学年の学習内容を履修している児童生徒を調査対象とする。

- (3) 本市の調査実施校数・児童生徒数

学校種	学 年	調査実施校		調査実施児童生徒数	
		鹿児島市	鹿児島県	鹿児島市	鹿児島県
小学校	第5学年	78校	509校	4,961人	13,812人
中学校	第1学年	39校	221校	4,835人	13,247人
	第2学年	39校	219校	4,771人	13,096人

・調査人数は、欠席者等により各教科、設問によって異なる。

### 3 内 容

- (1) 学力調査

調査対象教科の学力について、当該学年の12月終了程度までの学習範囲を調査する。  
(主として「基礎・基本」に関する内容と主として「思考・表現」に関する内容)

- (2) 学習状況調査

調査対象学年の児童生徒の学習に関する意識や学び方などの学習状況について、児童生徒に対する質問紙により調査する。

### 4 実施時間

- (1) 学力調査

小学校（小学部） 1教科45分（調査票の配布・説明等5分、調査時間40分）  
国語・社会・算数・理科の4教科

中学校（中学部） 1教科50分（調査票の配布・説明等5分、調査時間45分）  
国語・社会・数学・理科・英語の5教科

- (2) 学習状況調査

小学校（小学部）及び中学校（中学部） 10～15分（調査票の配布・説明等を含む）

### 5 実施日

- (1) 学力調査 平成29年1月18日（水）・19日（木）  
(2) 学習状況調査 平成29年1月18日（水）～20日（金）

### 6 集計（本市関係のみ）

- (1) 各学校は、各教科及び意識調査の集計票に示した項目ごとに人数を集計して記入し、市教育委員会へ提出する。  
(2) 市教育委員会は、各学校分を集計し、義務教育課に提出する。  
(3) 県教育委員会では、県全体の学力・学習状況について分析するとともに、指導方法の工夫改善の参考となる報告書を作成・配布する。

### Ⅲ 各教科の平均通過率及び結果概要

	学年	基礎・基本			思考・表現			全体		
		市	県	差 (H27)	市	県	差 (H27)	市	県	差 (H27)
国語	小5	76.4%	75.8%	0.6(1.3)	62.6%	61.1%	1.5(2.4)	71.8%	70.9%	0.9(1.7)
	中1	74.9%	73.6%	1.3(1.5)	60.6%	59.3%	1.3(0.2)	69.0%	67.8%	1.2(1.1)
	中2	67.8%	65.6%	2.2(0.9)	56.1%	53.0%	3.1(2.2)	64.2%	61.7%	2.5(1.3)
社会	小5	62.4%	62.3%	0.1(1.5)	60.7%	59.4%	1.3(1.5)	61.8%	61.4%	0.4(1.5)
	中1	67.4%	64.8%	2.6(2.6)	42.9%	40.3%	2.6(1.7)	60.2%	57.5%	2.7(2.3)
	中2	59.2%	57.4%	1.8(0.1)	40.9%	38.9%	2.0(0.2)	53.8%	51.9%	1.9(0.2)
算数・数学	小5	71.0%	70.6%	0.4(1.0)	50.1%	48.8%	1.3(1.1)	64.8%	64.2%	0.6(1.0)
	中1	72.3%	70.9%	1.4(2.2)	48.7%	47.7%	1.0(3.0)	65.2%	64.0%	1.2(2.5)
	中2	75.1%	73.1%	2.0(0.8)	56.6%	53.3%	3.3(2.4)	68.9%	66.5%	2.4(1.4)
理科	小5	75.0%	73.9%	1.1(0.6)	69.1%	67.8%	1.3(2.7)	72.9%	71.8%	1.1(1.3)
	中1	56.3%	54.5%	1.8(2.2)	47.6%	46.4%	1.2(1.2)	53.2%	51.6%	1.6(1.9)
	中2	61.5%	59.8%	1.7(1.5)	46.0%	43.1%	2.9(1.6)	57.1%	55.0%	2.1(1.5)
英語	中1	74.0%	71.3%	2.7(3.7)	71.0%	67.6%	3.4(2.7)	72.6%	69.6%	3.0(3.4)
	中2	75.6%	72.3%	3.3(1.4)	43.6%	39.8%	3.8(2.0)	61.0%	57.4%	3.6(1.7)

- (1) 小学校
- 全教科の「基礎・基本」「思考・表現」「全体」の全てで県平均通過率を上回った。
  - 全ての教科で、県との差が昨年度より小さくなった。
- (2) 中学校
- 全教科の「基礎・基本」「思考・表現」「全体」の全てで県平均通過率を上回った。
  - 中2の全教科で、県との差が昨年度より大きくなった。「基礎・基本」の中2英語、「思考・表現」の中2国語・数学、中1・2英語、「全体」の中1・2英語において、県との差が3ポイント以上大きくなっている。
- (3) 共通
- 社会を除く教科において、学年が上がるにつれ県との差が大きくなる傾向が見られる。

#### 【今後の対策】

各学校においては、これまでの授業における取組に加え、以下のような取組を行い、基礎的・基本的な知識・技能の一層の定着と思考力・判断力・表現力等の向上を図る必要がある。

ア 児童・生徒の定着の低い内容を、教科の年間指導計画に朱書き、または枠で囲むなど示し、校内で課題を共有する。

イ (1)について重点的に取り扱えるよう時数を増やして年間指導計画に位置付ける。

ウ 練習問題を解かせたり関連する宿題を与えたりするなど繰り返し指導を行うとともに、適宜ポストテスト等を行い、個別の状況を把握する。

エ 次の視点から授業改善を行う。(◎は本年度の重点)

- ・ 児童生徒の思考・判断を促す「発問」の工夫
- ◎ 児童生徒が自分の考えを相互に説明する活動の充実
- ・ 思考過程が分かる構造的な板書
- ◎ 児童生徒が調べたり文章を書いたりする「宿題」(家庭学習)の取組
- ◎ 他者の「話を聞く態度」の育成(学校と家庭での習慣付け)

オ 本冊子の巻末「かごんま よか授業(授業づくり編)」を活用し、教師主導型の授業から、生徒主体の学びになる授業を行う。また、KEIネットの「かごんま よか授業」の動画を活用し、「発問」「話し合い」「板書」について授業改善に取り組む。

IV 各教科の結果分析(基礎・基本及び思考・表現)

1 国語

○分析 ◆対策

(1) 全体

学 年	基礎・基本			思考・表現			全 体		
	鹿児島市	鹿児島県	県との差	鹿児島市	鹿児島県	県との差	鹿児島市	鹿児島県	県との差
小学5年生	76.4%	75.8%	0.6	62.6%	61.1%	1.5	71.8%	70.9%	0.9
中学1年生	74.9%	73.6%	1.3	60.6%	59.3%	1.3	69.0%	67.8%	1.2
中学2年生	67.8%	65.6%	2.2	56.1%	53.0%	3.1	64.2%	61.7%	2.5

- 全体では、小5が70%を越えており、中1、中2は60%を越えている。
- 基礎・基本では、小5、中1が70%を上回り概ね定着しているが中2は70%未満であった。
- 思考・表現では小5、中1が60%に達しているが、小5は約55%であった。

【基礎・基本の分析】

話す聞く、書く、読む、伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(伝国)

【思考・表現の分析】

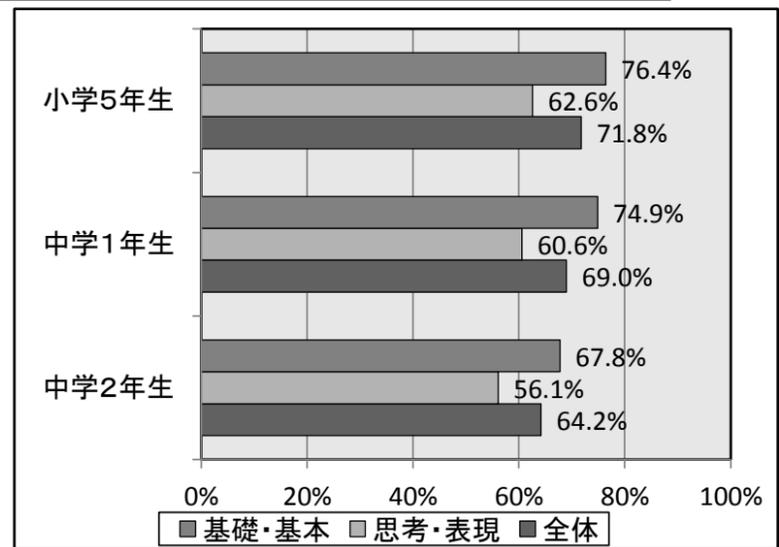
思考・表現1：知識・技能等を実生活の様々な場面に活用して課題解決する問題

思考・表現2：身近な資料を用いて、表現の仕方や文章の特徴を捉え、自分の表現に役立てることができるようにする問題

思考・表現3：複数の情報を関連付け、それをもとに自分の考えを論理的に書くことができるようにする問題

【全体的な対策】(2)(3)の分析を踏まえ、以下のような対策が考えられる。

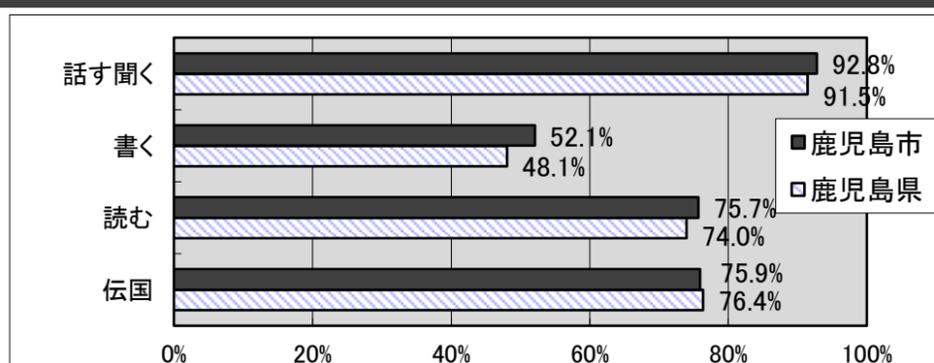
- ◆ 授業の中で辞書を引く機会を増やし、語句の意味や見出し語の並びについて定着を図ったり、ある文を文節ごとに分けて読む活動等を繰り返し行ったりして、基礎・基本の定着を図る。
- ◆ 知識・技能を実生活の様々な場面に活用して課題解決を図ったり、身近な資料を用いて、表現の仕方や文章の特徴を捉え、自分の表現に役立てたりすることができるような課題を与え、話し合い等の言語活動を取り入れながら思考力・表現力の定着を図る。(主体的・協同的な学習活動)



(2) 基礎・基本

ア 小学校5年生

	平均通過率		県との差
	鹿児島市	鹿児島県	
話す聞く	92.8%	91.5%	1.3
書く	52.1%	48.1%	4.0
読む	75.7%	74.0%	1.7
伝国	75.9%	76.4%	-0.5



- 「話す聞く」は90%を越えている。
- 県と比較すると、「書く」は大きく上回っているが、「伝国」は下回っている。

【特に課題のあった設問】小5 1-3-2 ローマ字の読み、書き

三 次の1のローマ字の読み方をひらがなでいねいに書きましょう。  
また、2の言葉を、ローマ字でいねいに書きましょう。  
□の中に書きましょう。  
1 kyusyu(Uの上にはそれぞれ^が入る)  
2 ねこ

【出題の意図】

日常使われている簡単な単語についてローマ字で表記されたものを読んだり、書いたりできるか。

【結果 平均通過率】

市：1 62.0%、2 43.2%  
県：1 62.6%、2 47.9%  
市-県：1 -0.6、2 -4.7

【特に課題のあった設問】小5 2-4-1・2 国語辞典の基本的な引き方

四 次の1, 2で示した言葉を国語辞典で探るとき、最初に出てくる言葉は、どれでしょうか。アからウの中からそれぞれ一つずつ選び、記号で書きましょう。

- 1 ア体育(たいいく) イ 台風(たいふう) ウ 大工(だいく)  
2 ア サッカー イ サイクリング ウ サーカス

【出題の意図】

見出し語の並びについて理解し、国語辞典の基本的な引き方を身に付けているか。(H27年度追跡調査)

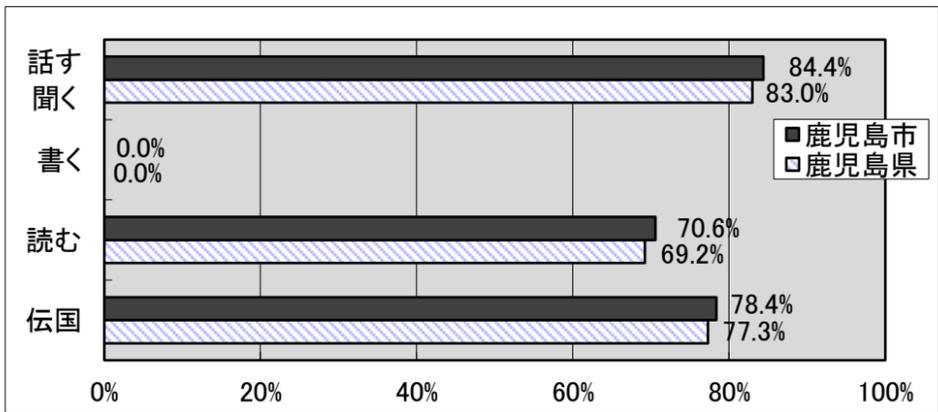
【結果 平均通過率】

市：1 95.4% 2 73.0%  
県：1 95.5% 2 73.9%  
市-県：1 -0.1 2 -0.9

- ◆ ローマ字の表記について、機会を捉えて継続的に課題を与え、定着を図る。
- ◆ 見出し語の並びについて、規則性を確認できる課題を与え、定着を図る。  
(例) さつきーさつきーざつきーざつき、ひょうーひょうーびょうーびょう など

イ 中学校1年生

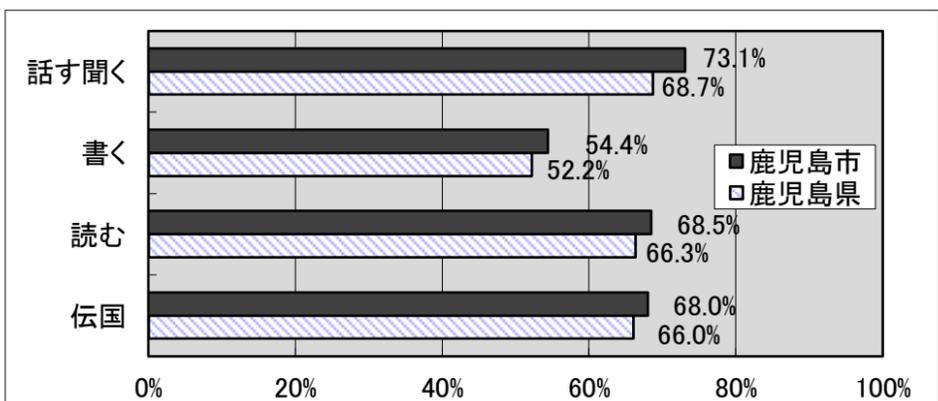
	平均通過率		県との差
	鹿児島市	鹿児島県	
話す聞く	84.4%	83.0%	1.4
書く			0.0
読む	70.6%	69.2%	1.4
伝国	78.4%	77.3%	1.1



- 全ての領域で70%を越え、「話す聞く」は80%を越えている。
- 県と比較して、「話す聞く」「読む」「伝国」それぞれ、県をやや上回っているが、設問によっては県を下回っている問題もある。

ウ 中学校2年生

	平均通過率		県との差
	鹿児島市	鹿児島県	
話す聞く	73.1%	68.7%	4.4
書く	54.4%	52.2%	2.2
読む	68.5%	66.3%	2.2
伝国	68.0%	66.0%	2.0



- 「書く」は50%台、「読む」「伝国」は60%台で、「話す聞く」は70%台である。
- 県と比較すると、全ての領域で2%以上県を上回っている。設問ごとでは、県を下回っている問題が1問あった。(動詞の活用の種類)

【特に課題のあった設問】 中1 3-3 文節に対する理解

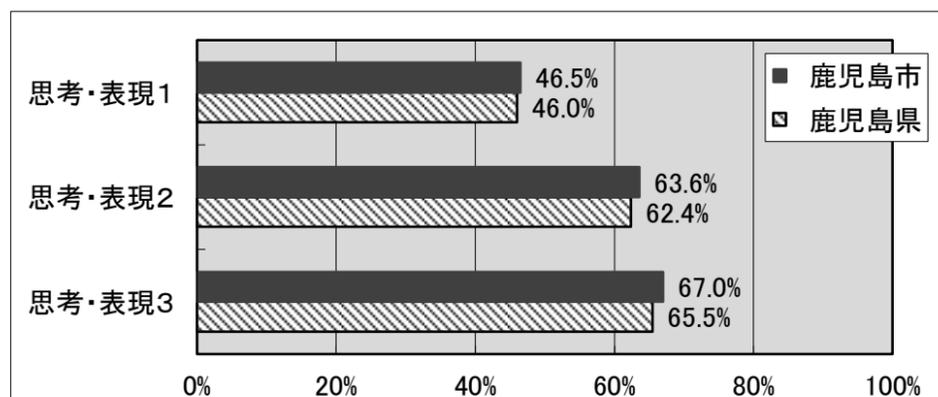
<p>三 次の文の文節の数を答えよ。</p> <p>公園で三時に友達と待ち合わせる。</p>	<p>【出題の意図】 文節について理解し、文節に正しく区切ることができるか。</p> <p>【結果】 市平均通過率：74.7% 県平均通過率：75.6% 県との比較：-0.9</p>
--	---

- ◆ 言葉の単位について文ー文章ー文節ー単語のそれぞれの意味を確認する。また、文節の区切りについて、機会を捉えて確認をし、定着を図る。その際、複合語や、補助の関係にある文節を含む問題を意識的に与える。

(3) 思考・表現

ア 小学校5年生

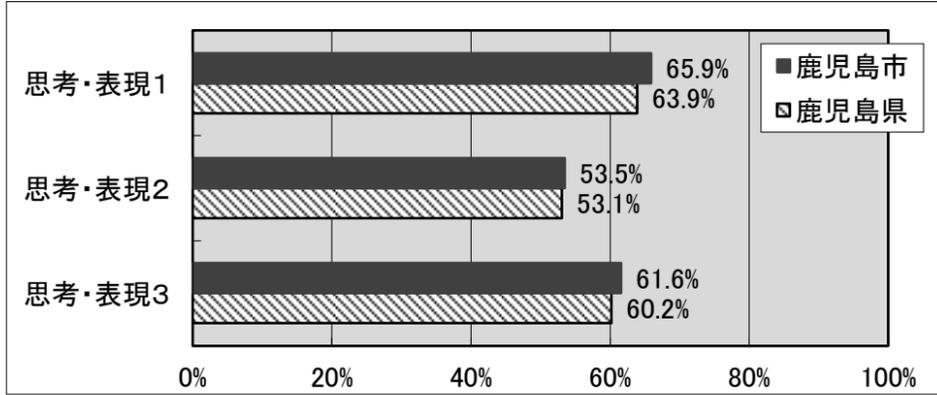
	平均通過率		県との差
	鹿児島市	鹿児島県	
思考・表現1	46.5%	46.0%	0.5
思考・表現2	63.6%	62.4%	1.2
思考・表現3	67.0%	65.5%	1.5



- 「思考・表現1」は40%台で、「思考・表現2、3」は60%台であった。
- 県と比較すると、いずれもやや上回っている。

イ 中学校1年生

	平均通過率		県との差
	鹿児島市	鹿児島県	
思考・表現1	65.9%	63.9%	2.0
思考・表現2	53.5%	53.1%	0.4
思考・表現3	61.6%	60.2%	1.4



- 「思考・表現2」は50%台で、他は60%台である。
- 県と比較すると、いずれもやや上回るか、上回っている。

【特に課題のあった設問】 中1 6-3 情報の的確な読み取り、必要な情報を整理して書く

6三 坂本さんたちは、今回の資料や意見交換の内容をふまえて、次の生徒会だよりで「正しい情報の発信の仕方・受け止め方」を特集で組むことになり、下のような形で紙面を組むことにした。そして、坂本さんがその冒頭で、大まかな結論を整理する文章を書くことになった。あなたが坂本さんなら、どのような文章を書くか。次の条件に従って書け。

(【資料A】、【記事資料B】、【意見交換】、【生徒会だより】は省略)

- ① 文章の中に、必ず、「情報を発信するときは」・「情報を受け止めるときは」という二つの語句を用いること。
- ② 【意見交換】の中で出てきた発言をもとにしながら、情報の発信と情報の受け止め方の、それぞれ大事なことを書くこと。
- ③ 文章は、「情報を」という書き出しに続く形で八十字以上百二十字以内で書くこと。(書き出しを一マス空ける必要はない。)

【出題の意図】

- ① 情報を的確に読み取ることができるか。(H27年度追跡調査)
- ② 複数の情報を読み、必要な情報を整理して書くことができるか。
- ③ 自分の伝えたいことを決められた字数で書くことができるか。

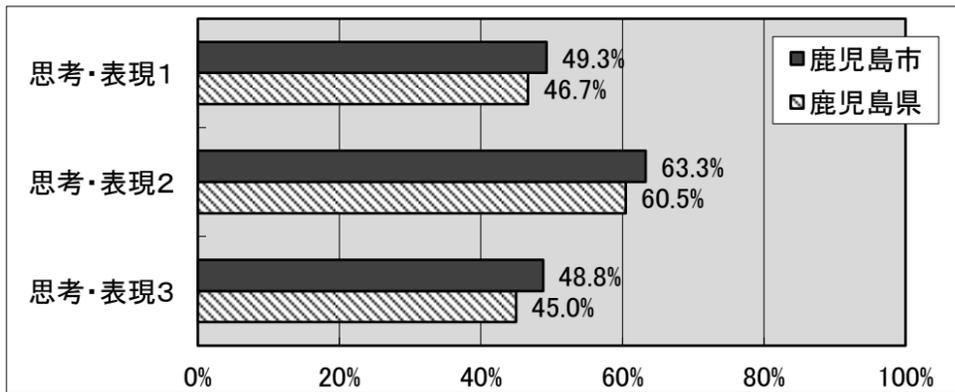
【結果(数字は%)】

- ① 市74.6 県71.7 差2.9
- ② 市55.0 県55.9 差-0.9
- ③ 市61.5 県58.2 差3.3

- ◆ グラフや記事など複数の資料をもとに情報を整理し、的確に読み取った上で意見交換を行い、自分の考えをまとめる活動を取り入れる。(主体的・協同的な学習活動)

ウ 中学校2年生

	平均通過率		県との差
	鹿児島市	鹿児島県	
思考・表現1	49.3%	46.7%	2.6
思考・表現2	63.3%	60.5%	2.8
思考・表現3	48.8%	45.0%	3.8



- 「思考・表現2」は60%台だが、それ以外は50%に満たない。
- 県と比較すると、それぞれ上回っている。

【特に課題のあった設問】 中2 6-2 記述・交流

6 山下さんの学級では、学級活動の時間に『健康な生活』について学習し、班ごとに調べたことを発表することになりました。山下さんの班は、『早寝・早起き・朝ごはん』について発表するために、図書室で次のようなリーフレットを見つけました。次の資料や会話の様子を踏まえてあとの各問いに答えなさい。(【リーフレット】、【会話の様子】、【グラフ】は省略)

二 山下さんたちはリーフレットをもとに、次のような構成で原稿を書くことにした。次の条件にしたがって、原稿を完成させるため、□に入る文章を答えよ。

- ① リーフレットの内容をふまえて、一文目には、第一段落で明らかにしている内容の理由を、二文目以降には、「早寝・早起き」と「朝ごはん」の関連に着目して、自分の考えをまとめて書くこと。
- ② 百二十字以上百四十字以内で書くこと。
- ③ 原稿用紙の使い方を守って書くこと。

【出題の意図】

- ① 論述されている事柄の理由を資料から探し、文章に書くことができるか。
- ② 資料から必要な情報を取り出し、自分の考えをまとめ、文章に書くことができるか。
- ③ 字数制限を守り、原稿用紙の書き表し方に基づいて文章を記述できるか。

【結果(数字は%)】

- ① 市46.5 県42.6 差3.9
- ② 市45.0 県41.0 差4.0
- ③ 市55.0 県51.3 差3.7

- ◆ リーフレット等身近な資料をもとに話し合い、話し合いを踏まえて新たな資料を見付けたり、原稿を書いたりする活動を取り入れる。(主体的・協同的な学習活動)

(1) 全体

学 年	基礎・基本			思考・表現			全 体		
	鹿児島市	鹿児島県	県との差	鹿児島市	鹿児島県	県との差	鹿児島市	鹿児島県	県との差
小学5年生	62.4%	62.3%	0.1	60.7%	59.4%	1.3	61.8%	61.4%	0.4
中学1年生	67.4%	64.8%	2.6	42.9%	40.3%	2.6	60.2%	57.5%	2.7
中学2年生	59.2%	57.4%	1.8	40.9%	38.9%	2.0	53.8%	51.9%	1.9

- 全体では、小5が県とほぼ同じであり、中1、2が県をやや上回ってはいるが、70%に到達していない。
- 基礎・基本では、いずれの学年においても、70%に到達していないことから、定着が十分でない。
- 思考・表現では小5は概ね定着しているが、中1、中2は定着が十分でない。

【基礎・基本の分析】

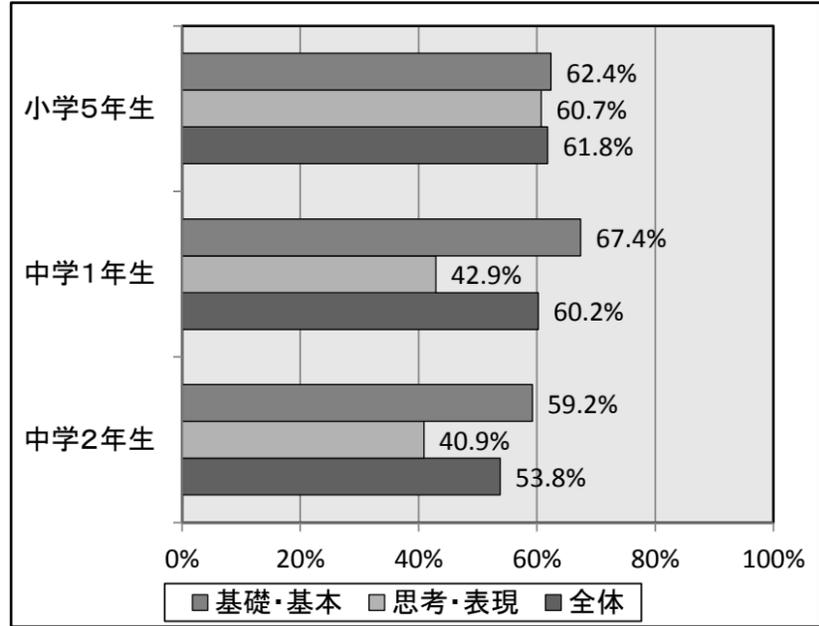
- 小学校：国土の様子、農業、水産業、工業、運輸・貿易
- 中1年：世界の地域構成、世界各地の人々の生活と環境、世界の諸地域、歴史のとらえ方、古代までの日本
- 中2年：日本の地域構成、日本の地域的特色、日本の諸地域、近世の日本

【思考・表現の分析】

- 思考・表現1：社会的事象の特徴や背景・原因等について、自分の考えを筋道立てて説明する問題
- 思考・表現2：提示された資料を関連付けたり、比較したりして読み取ったことをもとに、社会的事象について説明する問題
- 思考・表現3：歴史的事象の相互の関係を判断したり、社会的事象について正しく説明しているものを判断したりする問題(選択肢による出題)

【全体的な対策】 (2) (3)の分析を踏まえ、以下のような対策が考えられる。

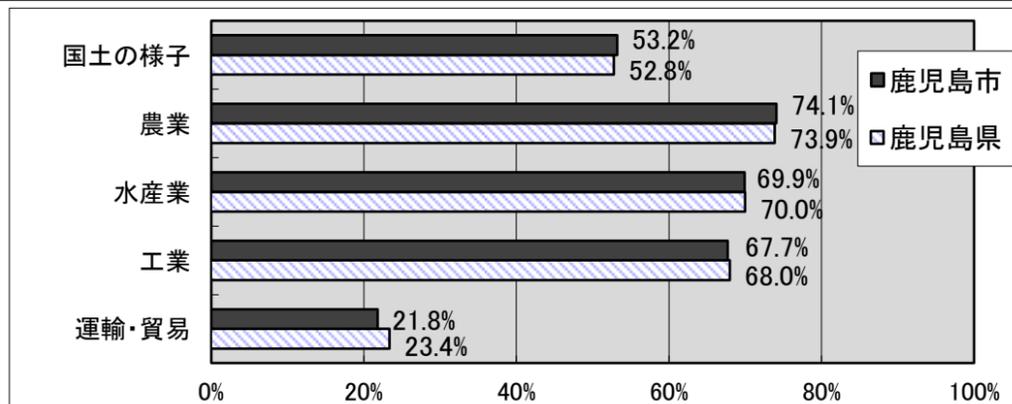
- ◆ 授業の中で、地球儀や地図、写真などの資料を活用し、資料から読み取ったことから自分の考えをまとめたり、話し合ったりする活動を充実させ、知識・理解の確実な定着を図る。
- ◆ 資料を調べたり、資料から読み取ったことから自分の考えをまとめたり、話し合ったりする活動を更に充実させながら、特に複数の資料を関連付けて説明する活動を重視し、思考力・表現力の定着を図る。



(2) 基礎・基本

ア 小学校5年生

	平均通過率		県との差
	鹿児島市	鹿児島県	
国土の様子	53.2%	52.8%	0.4
農業	74.1%	73.9%	0.2
水産業	69.9%	70.0%	-0.1
工業	67.7%	68.0%	-0.3
運輸・貿易	21.8%	23.4%	-1.6



- 全ての内容・領域において定着が十分でない。
- 県と比較すると、「運輸・貿易」の内容・領域がやや下回っている。

【特に課題のあった設問】 小5 6-(4) 工業の原材料としての石油の輸送

(4) 工業のさかんな地域が海沿いにある理由の一つは、船で原材料や製品を運ぶからです。資料3は、そのような原材料を輸送する専用の船の一つです。この船が輸送している原材料は何ですか。また、何とよばれる船ですか。

(資料3) ある原材料を輸送する船



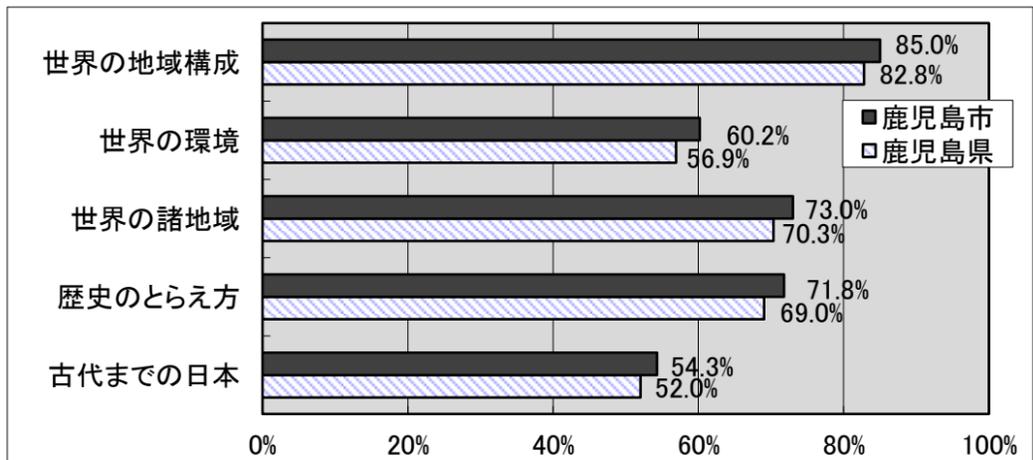
【出題の意図】 工業の原材料として重要な輸入品である石油の輸送について理解できているか。

【結果】  
 市平均通過率：21.8%  
 県平均通過率：23.4%  
 県との比較：-1.6

- ◆ 日頃から資料集や写真、映像等を活用して実生活に結び付き、児童生徒の興味・関心を高める工夫をする。また、それぞれの資料を関連付けて説明できるよう、ペアやグループで話し合う際、説明が矛盾していないかお互いに聞き合って検討させる場を設定する。

### イ 中学校1年生

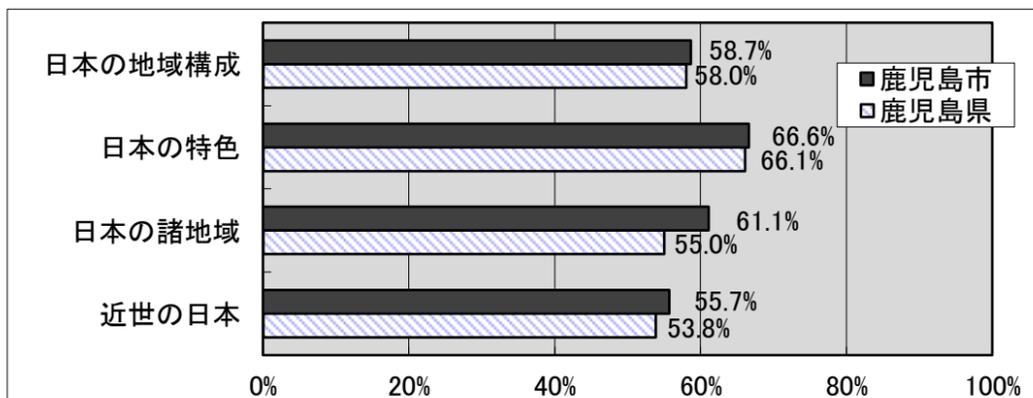
	平均通過率		県との差
	鹿児島市	鹿児島県	
世界の地域構成	85.0%	82.8%	2.2
世界の環境	60.2%	56.9%	3.3
世界の諸地域	73.0%	70.3%	2.7
歴史のとらえ方	71.8%	69.0%	2.8
古代までの日本	54.3%	52.0%	2.3



- 「古代までの日本」は、50%台である。
- 県と比較すると、「世界の環境」が上回っており、その他はやや上回っている。

### ウ 中学校2年生

	平均通過率		県との差
	鹿児島市	鹿児島県	
日本の地域構成	58.7%	58.0%	0.7
日本の特色	66.6%	66.1%	0.5
日本の諸地域	61.1%	55.0%	6.1
近世の日本	55.7%	53.8%	1.9



- 全ての内容・領域で70%を越えておらず、定着が十分でない。
- 県と比較すると「日本の諸地域」が上回っており、「近世の日本」がやや上回っている。

### 【特に課題のあった設問】 中1 4-(1)縄文時代の様子

(1) カードAについて、このころの日本は、縄文時代であった。縄文時代の代表的な遺跡とされる上野原遺跡はどこにあるか。地図1中のア～エから選び、記号で答えよ。

(地図1)

【出題の意図】 上野原遺跡の位置を地図上で正しく指摘できるか。

【結果】 (H27の追跡調査、同一問題)

市平均通過率：47.6%

県平均通過率：48.2%

県との比較：-0.6

【H27年度の結果】

市平均通過率：41.2%

県平均通過率：43.8%

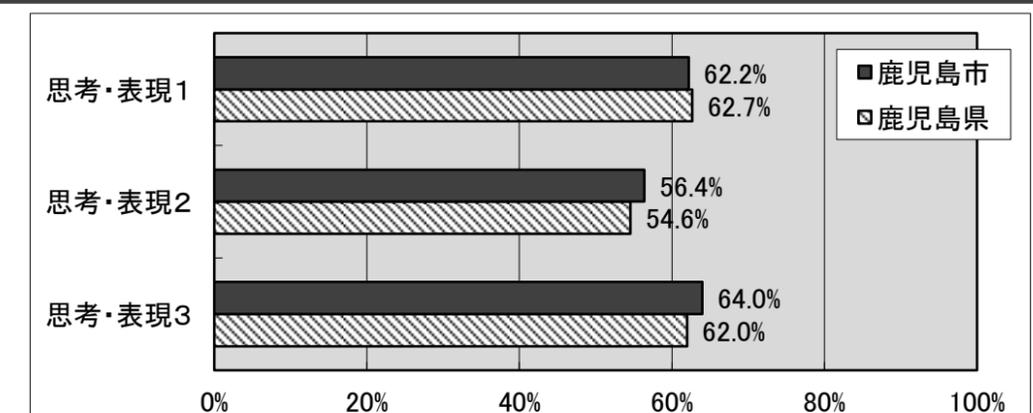
県との比較：-2.6

- ◆ 歴史的な遺跡の取扱いについては、その歴史的な価値を確認するだけでなく、地図で位置を確認すると共に、ノートに略地図を描くなどの活動を取り入れ、言葉だけの理解に終わらないように工夫することが大切である。
- ◆ 本設問は、H27年度の追跡調査であることから、定着の低い調査問題については、年間指導計画に朱書きするなどして、授業の中で確実に理解し定着が図られるようにする。

## (3) 思考・表現

### ア 小学校5年生

	平均通過率		県との差
	鹿児島市	鹿児島県	
思考・表現1	62.2%	62.7%	-0.5
思考・表現2	56.4%	54.6%	1.8
思考・表現3	64.0%	62.0%	2.0





(1) 全体

学 年	基礎・基本			思考・表現			全 体		
	鹿児島市	鹿児島県	県との差	鹿児島市	鹿児島県	県との差	鹿児島市	鹿児島県	県との差
小学5年生	71.0%	70.6%	0.4	50.1%	48.8%	1.3	64.8%	64.2%	0.6
中学1年生	72.3%	70.9%	1.4	48.7%	47.7%	1.0	65.2%	64.0%	1.2
中学2年生	75.1%	73.1%	2.0	56.6%	53.3%	3.3	68.9%	66.5%	2.4

- 全体では、県平均を上回っているが、7割に満たない状況にある。
- 基礎・基本では、小5・中1・中2のどの学年も70%を上回り、概ね定着しているといえる。
- 思考・表現では、小5・中2は50%を上回ったが、中1は50%を下回っている。

【基礎・基本の分析】

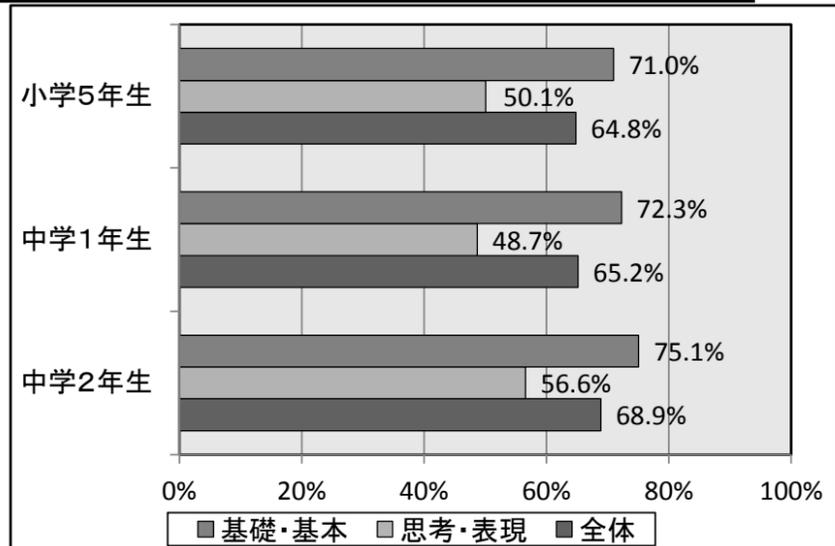
小学校：数と計算、量と測定  
図形、数量関係  
中学校：数と式、図形  
関数、資料の活用

【思考・表現の分析】

思考・表現1：知識・技能等を実生活の様々な場面に活用して課題解決する問題  
思考・表現2：示された課題解決の過程を新たな課題に活用して解決する問題  
思考・表現3：課題解決の方法や判断の根拠などを言葉や数、式、図、表、グラフなどを用いて、筋道立てて説明する問題

【全体的な対策】 (2) (3) の分析を踏まえ、以下のような対策が考えられる。

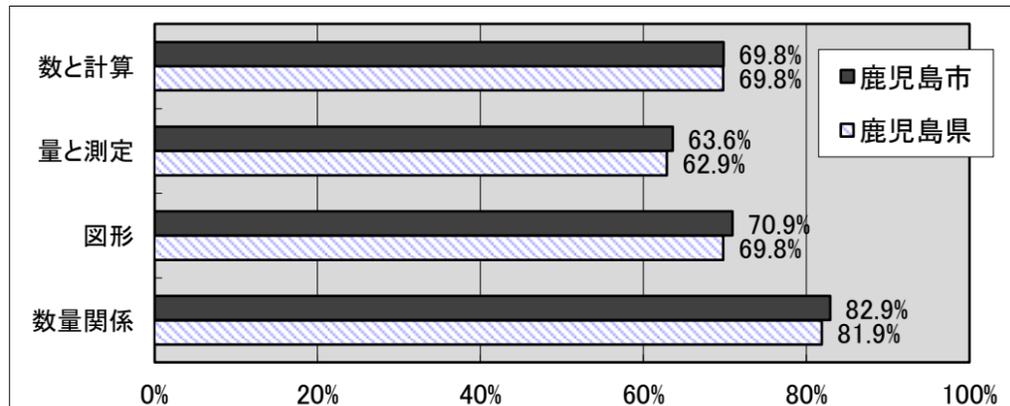
- ◆ 基本的な概念や原理・原則を確実に定着させた上で、それらを活用して深く考え理解させる指導を重視する。
- ◆ 問題解決的な学習を確実に実践する中で、自分の考えを言葉や図、式、表、グラフ等を用いてまとめたり説明したりする活動を積極的に取り入れる。
- ◆ 日常生活に関係する問題の解決のために、必要な情報を集め、その中から条件に合うものを選択して数学的に処理したり、示された方法を場面に応じて適用したりする学習を充実させる。



(2) 基礎・基本

ア 小学校5年生

	平均通過率		県との差
	鹿児島市	鹿児島県	
数と計算	69.8%	69.8%	0.0
量と測定	63.6%	62.9%	0.7
図形	70.9%	69.8%	1.1
数量関係	82.9%	81.9%	1.0



- 「量と測定」は70%に満たない。
- 県と比較すると、「図形」「数量関係」はやや上回っている。

【特に課題のあった設問】 小5 3-(2) 最小公倍数

3 右のような、たて32cm、横40cmの長方形の画用紙があります。次の(1)、(2)の問いに答えましょう。

(2) また、この画用紙をすき間なくしきつめて、正方形をつくります。しきつめてできる一番小さい正方形の1辺の長さは、何cmになるでしょうか。

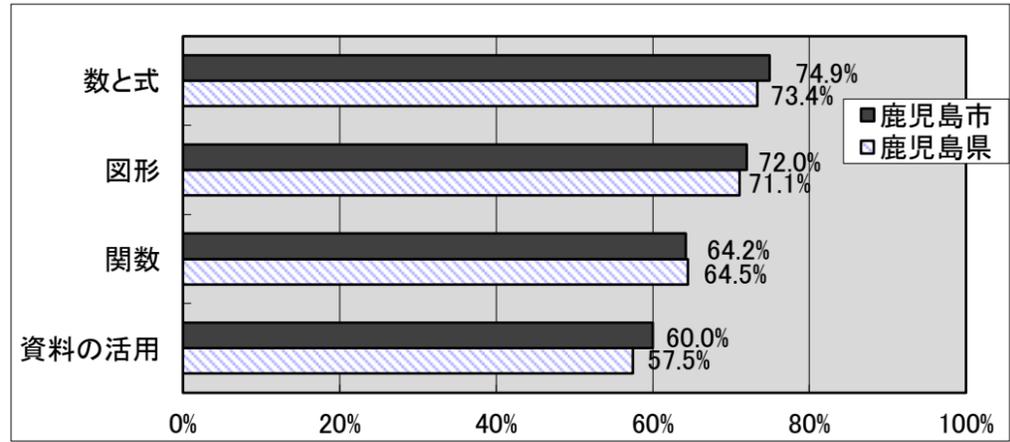
【出題の意図】 最小公倍数の意味を正しく理解し、求めることができるか。

【結果】  
市平均通過率：44.5%  
県平均通過率：46.8%  
県との比較：-2.3

- ◆ 最小公倍数を理解させるために、実際に長方形を並べさせて最小の正方形をつくる活動を設定し、図と関連付けながら最小公倍数の意味を理解させる指導を行う。

イ 中学校1年生

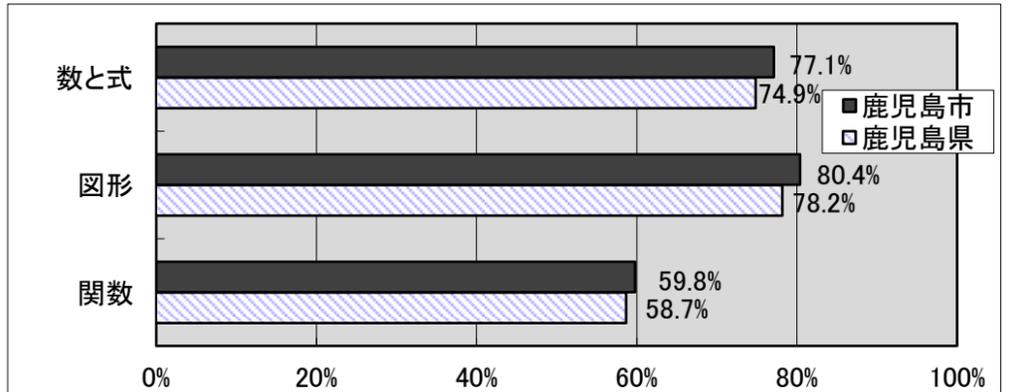
	平均通過率		県との差
	鹿児島市	鹿児島県	
数と式	74.9%	73.4%	1.5
図形	72.0%	71.1%	0.9
関数	64.2%	64.5%	-0.3
資料の活用	60.0%	57.5%	2.5



- 「数と式」「図形」は70%を上回ったが、「関数」「資料の活用」は70%を下回った。
- 県と比較すると、「数と式」「資料の活用」はやや上回っており、「図形」「関数」はほぼ同じである。

ウ 中学校2年生

	平均通過率		県との差
	鹿児島市	鹿児島県	
数と式	77.1%	74.9%	2.2
図形	80.4%	78.2%	2.2
関数	59.8%	58.7%	1.1
資料の活用			



- 「関数」の平均通過率は70%を下回っている。
- 県と比較すると、全てやや上回っている。

【特に課題のあった設問】 中1 4-1 図形の平行移動

4 次の1, 2の間に答えなさい。

1 下の図の△ABCを、矢印の示す方向に5cmだけ平行移動した図形を、解答用紙の方眼を利用してかけ。

【出題の意図】 方眼を用いて平行移動した図形をかくことができるか。  
(H27全国学力・学習状況調査追跡問題)

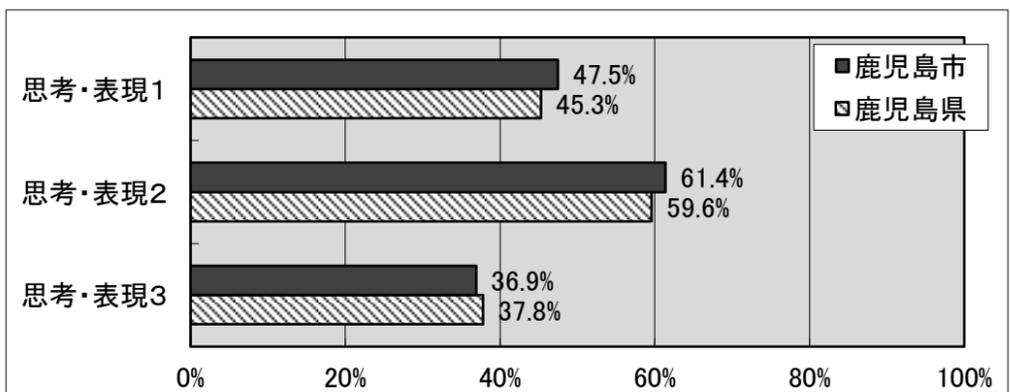
【結果】  
市平均通過率：56.4%  
県平均通過率：57.5%  
県との比較：-1.1

- ◆ 方眼紙を利用した図形の平行移動の問題である。平行移動の意味を実際に図形を動かすことで理解させ、また、きちんと定規等の道具を使い図をかくという指導を徹底する。

(3) 思考・表現

ア 小学校5年生

	平均通過率		県との差
	鹿児島市	鹿児島県	
思考・表現1	47.5%	45.3%	2.2
思考・表現2	61.4%	59.6%	1.8
思考・表現3	36.9%	37.8%	-0.9



- 「思考・表現1」「思考・表現3」は50%を下回っている。
- 県と比較して、「思考・表現1」「思考・表現2」はやや上回っており、「思考・表現3」はほぼ同じである。

【特に課題のあった設問】 小5 11-(2) 2本の平行な直線

11 あおいさんは、板を使ってヨットを作っています。

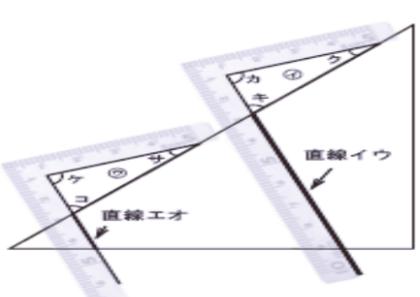
(2) あおいさんは、どうしてこの方法で平行な線がひけるのかを考えています。□の中に、言葉や数を入れ、直線イウと直線エオが平行な理由を完成させましょう。

三角形②と三角形③は、合同なので

角□と角□の大きさは等しい。

直線イウと直線エオは、□つの直線に□しい角度で交わっている。

だから、この2本の直線は□といえる。



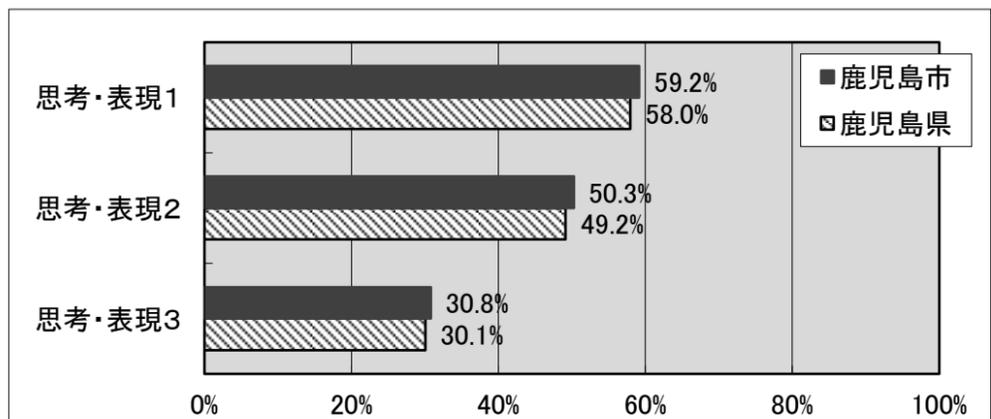
【出題の意図】 1つの直線に、等しい角度で交わる2本の直線は平行であるという性質を使って、2本の直線が平行であることを説明することができるか。

【結果】  
 市平均通過率：13.2%  
 県平均通過率：13.2%  
 県との比較：0.0

◆ 1つの直線に交わる2本の直線が平行であることをきちんと理解させるために、直線と直線が交わってできる角度を測ったり、2本の直線が平行になるように図をかかせたりする活動と併せて、複数の直線が引いてある図の中から平行な2本の直線を探す活動などに取り組みさせる。

イ 中学校1年生

	平均通過率		県との差
	鹿児島市	鹿児島県	
思考・表現1	59.2%	58.0%	1.2
思考・表現2	50.3%	49.2%	1.1
思考・表現3	30.8%	30.1%	0.7



- 「思考・表現1」は50%を上回っているが、「思考・表現3」は50%を下回っている。
- 県と比較すると、「思考・表現1」「思考・表現2」はやや上回っており、「思考・表現3」はほぼ同じである。

【特に課題のあった設問】 中1 8-1-(2) 2つの数量の関係の考察と表現

8 さくらさんとゆみさんは、そうざいを買うためにスーパーにやってきた。次の1、2の問いに答えなさい。

1 さくらさんはポテトフライを買おうとしています。100g当たりの値段は同じですが、量のちがうポテトフライAとポテトフライBの2種類のパックがあることに気づき、どちらを買おうか迷っています。下の【図1】に示した商品ラベルをもとに、次の(1)、(2)の問いに答えよ。

(2) さくらさんは持っている850円で、できるだけ多くの量のポテトフライを買いたいと考えた。ただし、パックの合計数はできるだけ少なくしたい。このとき、ポテトフライAとポテトフライBを何パックずつ買えばよいか。ただし、計算の仕方や考え方が分かるように途中の過程も書くこと。

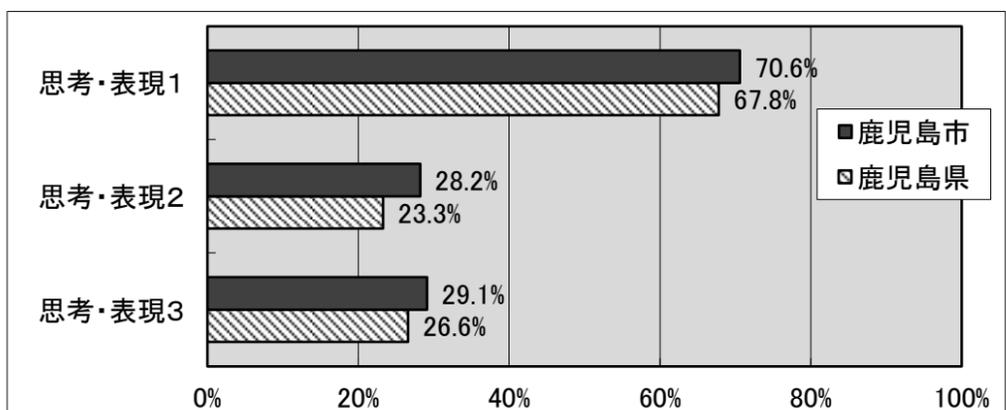
【出題の意図】 問題から数量関係を捉え、課題を解決することができるか。

【結果】  
 市平均通過率：15.0%  
 県平均通過率：15.9%  
 県との比較：-0.9

◆ 問題場面を正しく捉えられていないことも考えられるので、具体的な操作活動を取り入れ、イメージできるようにすることも必要である。また、解決方法等を図や式に表現したり、関連付けたりし、数学的な表現や言語を使うことができる学習を取り入れる。

ウ 中学校2年生

	平均通過率		県との差
	鹿児島市	鹿児島県	
思考・表現1	70.6%	67.8%	2.8
思考・表現2	28.2%	23.3%	4.9
思考・表現3	29.1%	26.6%	2.5

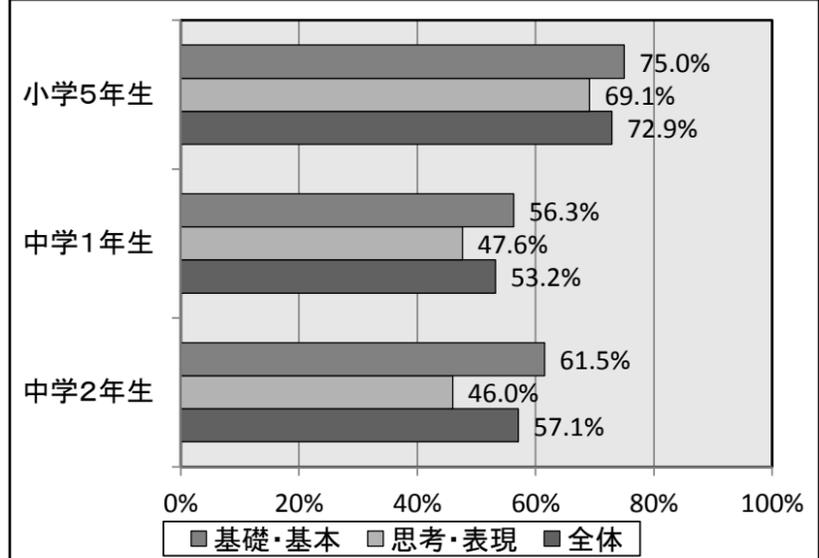


- 「思考・表現2」「思考・表現3」は30%に満たない。
- 県と比較すると、「思考・表現2」は上回っており、「思考・表現1」「思考・表現3」はやや上回っている。

(1) 全体

学 年	基礎・基本			思考・表現			全 体		
	鹿児島市	鹿児島県	県との差	鹿児島市	鹿児島県	県との差	鹿児島市	鹿児島県	県との差
小学5年生	75.0%	73.9%	1.1	69.1%	67.8%	1.3	72.9%	71.8%	1.1
中学1年生	56.3%	54.5%	1.8	47.6%	46.4%	1.2	53.2%	51.6%	1.6
中学2年生	61.5%	59.8%	1.7	46.0%	43.1%	2.9	57.1%	55.0%	2.1

- 全体では、いずれの学年も県をやや上回っているが、中1、中2は7割に満たない状況である。
- 基礎・基本では、いずれの学年も県をやや上回っているが、特に中1が6割に満たない状況であり、課題が見られる。
- 思考・表現では、いずれの学年も県をやや上回っているが、中1、中2は5割に満たない状況であり、課題が見られる。



【基礎・基本の分析】

小学校：A 物質・エネルギー  
B 生命・地球

中学校：物理、化学、生物、地学

- 思考・表現1：観察、実験の結果（事実、データ）から結論を考察する問題
- 思考・表現2：原理、法則を他の身近な現象に当てはめて説明する問題
- 思考・表現3：視覚的に実感しにくい現象をモデルで説明する問題

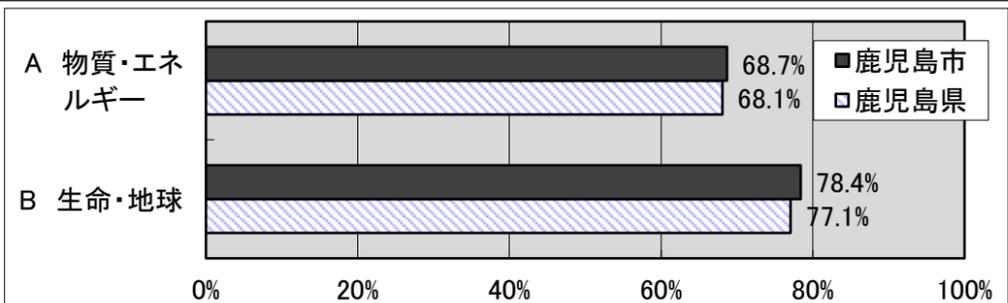
【全体的な対策】(2)(3)の分析を踏まえ、以下のような対策が考えられる。

- ◆ 確かな問題意識の基に予想や仮説を一人一人にもたせ、観察・実験への見通しを明確にもたせる。実験器具の操作に当たっては、操作手順や方法の意味を考えさせるとともに、二人組で確認しながら取り組ませるなど、確実な定着を図る。
- ◆ 結果を表やグラフに整理して傾向を捉えさせたり、作図や図式化などモデル化を通して事象と要因を関連付けさせたりするなど、領域の特性を踏まえて考察を深める工夫を取り入れる。
- ◆ 原理・法則を身近な事象に当てはめて考え、児童生徒が自分の言葉で説明する活動を授業終末等に取り入れる。その際、自分の考えを根拠も含めて記述させるようにする。

(2) 基礎・基本

ア 小学校5年生

	平均通過率		県との差
	鹿児島市	鹿児島県	
A 物質・エネルギー	68.7%	68.1%	0.6
B 生命・地球	78.4%	77.1%	1.3



- 「生命・地球」は70%を越え、県をやや上回っている。

【特に課題のあった設問】小5 9-(1) メスシリンダーの操作

(1) 正子さんは、メスシリンダーを使ってはかりとりましたが、正しくはかりとっているのはどれですか。ア～エから1つ選んで、その記号を  に書きましょう。

ア

水を少なめに入れてスポイトで水をたす。  
水の盛り上がった部分を読む。

イ

水を少なめに入れてスポイトで水をたす。  
水の平らな部分を読む。

ウ

水を多めに入れてスポイトで水をぬく。  
水の盛り上がった部分を読む。

エ

水を多めに入れてスポイトで水をぬく。  
水の平らな部分を読む。

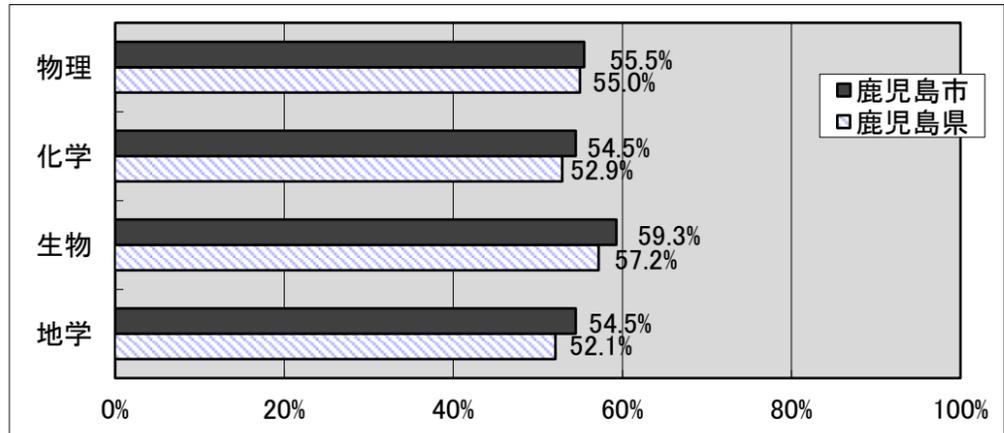
【出題の意図】液体の体積を正確にはかる道具の使い方を理解できているか。

【結果】  
市平均通過率：54.0%  
県平均通過率：56.0%  
県との比較：-2.0

- ◆ メスシリンダーの目盛りの読み取り方を拡大図を用いて正しく理解させるとともに、効率のよい操作の仕方について実際の操作を通して気付かせる。チェックカードを活用するなどさせ、2人一組で正しい操作方法を確認させながら習熟を図らせる。

イ 中学校1年生

	平均通過率		県との差
	鹿児島市	鹿児島県	
物理	55.5%	55.0%	0.5
化学	54.5%	52.9%	1.6
生物	59.3%	57.2%	2.1
地学	54.5%	52.1%	2.4



- どの分野も平均通過率は50%台である。
- 県と比較すると、物理はほぼ同じあり、その他はいずれもやや上回っている。

【特に課題のあった設問】 中1 6-(2) メスシリンダーによる体積の測定

**【実験2】** 図3のキャップ付きの小さなガラスびんに、水を15.0cm<sup>3</sup>入れてキャップをしめた。この小びんを水が160.0cm<sup>3</sup>入ったメスシリンダーにいれると、図4のように、びんはメスシリンダーの水の中で静止した。

図3

図4

図5

**【出題の意図】**  
メスシリンダーを読み取り、物質の体積を求めることができるか。

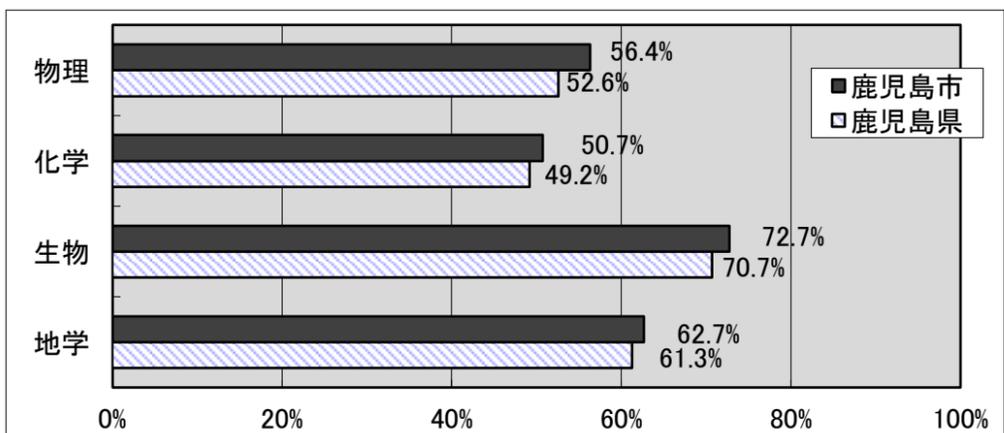
**【結果】**  
市平均通過率：14.3%  
県平均通過率：14.3%  
県との比較：0.0

(2) 図5は、図4のメスシリンダーの水面と目もりを示したものである。キャップをしめたガラスびん全体の体積は何cm<sup>3</sup>か。

- ◆ 水面の位置や目盛りの単位に留意しながら、体積を実際に測定する活動を十分に行わせ、操作を通して理解を深めるようにする。特に、容量の異なるメスシリンダーを用いることで、目盛りの最小単位に着目することの必要性に気付かせる。

ウ 中学校2年生

	平均通過率		県との差
	鹿児島市	鹿児島県	
物理	56.4%	52.6%	3.8
化学	50.7%	49.2%	1.5
生物	72.7%	70.7%	2.0
地学	62.7%	61.3%	1.4

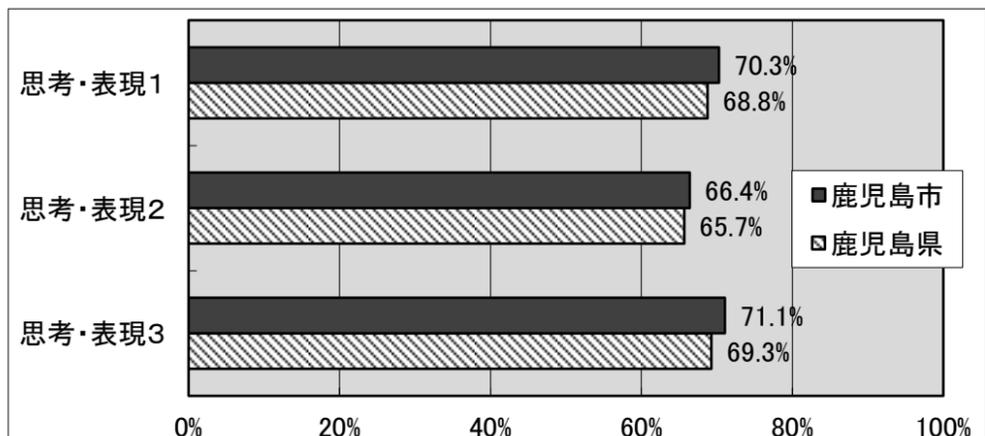


- 生物は70%を超えているが、物理、化学は50%台である。
- 県と比較すると、全て上回っている。

(3) 思考・表現

ア 小学校5年生

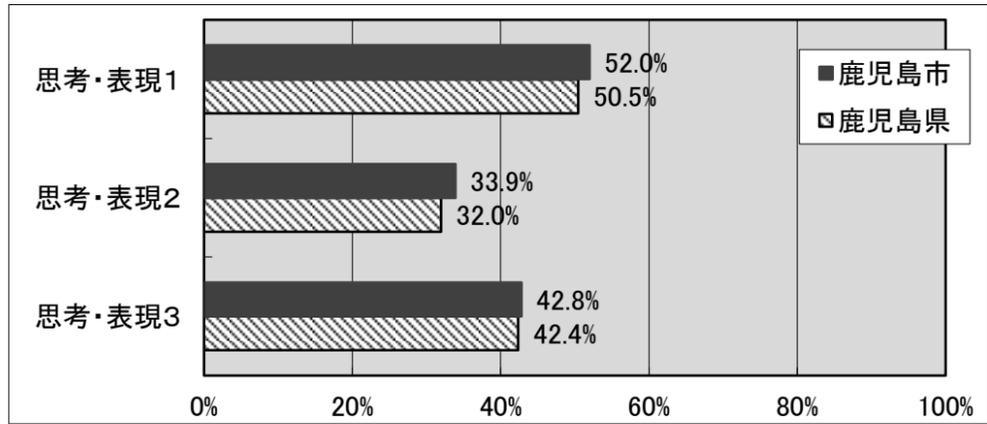
	平均通過率		県との差
	鹿児島市	鹿児島県	
思考・表現1	70.3%	68.8%	1.5
思考・表現2	66.4%	65.7%	0.7
思考・表現3	71.1%	69.3%	1.8



- 「思考・表現1」、「思考・表現3」は県をやや上回っており、70%を超えている。
- 「思考・表現2」は、県とほぼ同じである。

イ 中学校1年生

	平均通過率		県との差
	鹿児島市	鹿児島県	
思考・表現1	52.0%	50.5%	1.5
思考・表現2	33.9%	32.0%	1.9
思考・表現3	42.8%	42.4%	0.4



- 「思考・表現1」と「思考・表現3」は、県をやや上回っている。
- 「思考・表現2」、「思考・表現3」は50%を下回っている。

【特に課題のあった設問】 中1 7-Ⅱ(3) 凸レンズの働き

Ⅱ 図1のように、凸レンズの左側に物体を置いたら、凸レンズの右側に置いたスクリーンに像が映りました。

図1

【出題の意図】  
凸レンズを通った光の進む道筋と像のでき方を理解しているか。

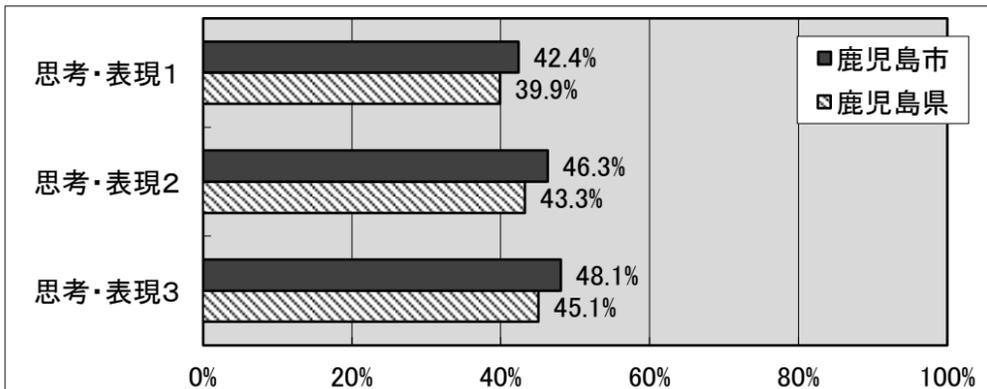
【結果】  
市平均通過率：40.4%  
県平均通過率：40.7%  
県との比較：-0.3

(2) できた像を図1の中に示せ。ただし、解答は解答用紙中を書くこと。また、作図に使った線などは残しておくこと。

- ◆ 実像や虚像ができる条件について、像の位置や大きさ、像の向きの関係に着目させながら調べる実験を十分に行った上で、作図を通して関係性を整理し確認させる。(1)の結果からは実像と虚像を混同していることが伺えることから、実験結果と作図を関係付けながら説明する活動を取り入れる。

ウ 中学校2年生

	平均通過率		県との差
	鹿児島市	鹿児島県	
思考・表現1	42.4%	39.9%	2.5
思考・表現2	46.3%	43.3%	3.0
思考・表現3	48.1%	45.1%	3.0



- いずれも40%台である。
- 県と比較すると、「思考・表現1」はやや上回っており、その他は上回っている。

【特に課題のあった設問】 中2 7-(4) 気圧と風

(4) 低気圧と高気圧付近の風のふき方はそれぞれ図5のようになっている。図5を参考にすると、図4のC地点における風向はどのようになるか。最も近いものを次のア～エから1つ選び、記号を書け。

ア 北西    イ 南西    ウ 北東    エ 南東

【出題の意図】  
高気圧と低気圧の位置関係から風向を類推できるか。

【結果】 市平均通過率：31.1%  
県平均通過率：30.2% 県との比較：0.9

- ◆ 天気図や低気圧、高気圧付近の風のふき方等の情報を基にして風向を類推する活動を取り入れる。その際、自分の考えをノートに書かせた上で、なぜそのように考えたのか一人一人説明し合う活動に少人数グループで取り組ませる。各グループでは、根拠を明確にさせながら考えを整理させ、学級全体で発表、確認させるようにする。

(1) 全体

学 年	基礎・基本			思考・表現			全 体		
	鹿児島市	鹿児島県	県との差	鹿児島市	鹿児島県	県との差	鹿児島市	鹿児島県	県との差
中学1年生	74.0%	71.3%	2.7	71.0%	67.6%	3.4	72.6%	69.6%	3.0
中学2年生	75.6%	72.3%	3.3	43.6%	39.8%	3.8	61.0%	57.4%	3.6

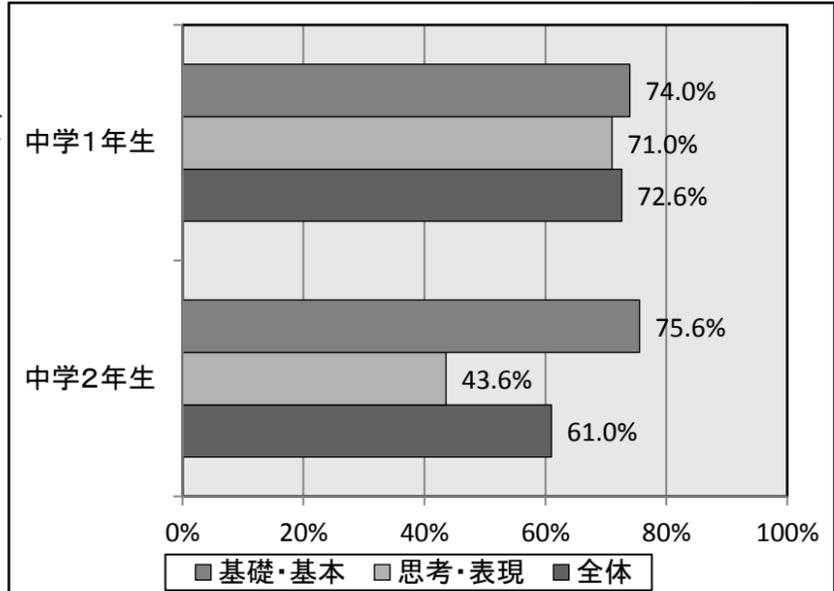
- 全体では、中1が70%に達しており、中2は70%を下回っている。
- 基礎・基本では、70%を越えており、概ね定着している。
- 思考・表現では、中2が50%を下回っており課題がみられる。

【基礎・基本の分析】

聞くこと、話すこと、読むこと、書くこと

【思考・表現の分析】

思考・表現1: 「聞くこと」は、聞き取った英語を基に、英文を完成させたり、英語の質問文に英語で答えたりする問題



思考・表現2: 「読むこと」は、文と文のつながりや段落と段落の関係、内容に合う英文選択などを問う問題

思考・表現3: 「書くこと」においては、対話文の流れを把握した上で、適切な英文や内容的にまとまりのある英文を書く問題

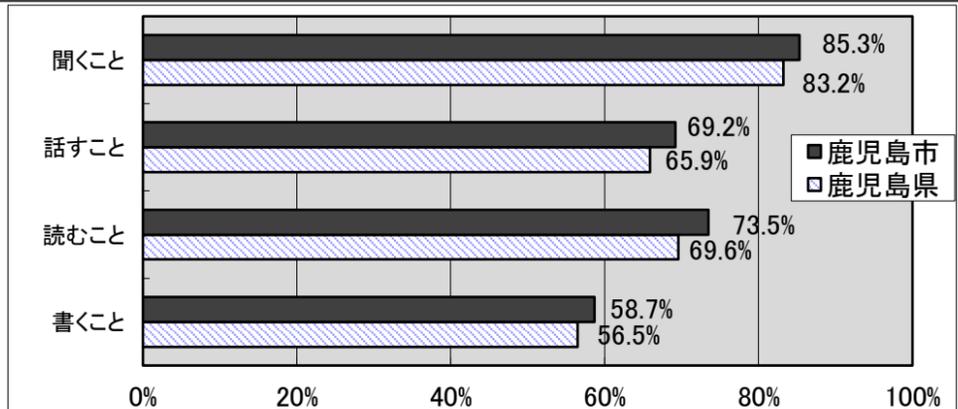
【全体的な対策】 (2) (3) の分析を踏まえ、以下のような対策が考えられる。

- ◆ 基本的な語句や表現は、コミュニケーション場面を設定して繰り返し使用させて習得させるとともに、音声から文字へのつながりを意識した「書くこと」の指導を徹底する。
- ◆ 長文読解においては、1単元を通して自力で読み進めることができるように、目標や課題の提示と生徒の振り返りを必ず指導過程に入れる。
- ◆ 指示語や接続語に注意して本文の内容を読み取る力を育成するために、物語や説明文の要約を英語で再現する練習 (re-telling) をする。

(2) 基礎・基本

ア 中学校1年生

	平均通過率		県との差
	鹿児島市	鹿児島県	
聞くこと	85.3%	83.2%	2.1
話すこと	69.2%	65.9%	3.3
読むこと	73.5%	69.6%	3.9
書くこと	58.7%	56.5%	2.2



- 「聞くこと」「読むこと」において70%を越えている。
- 県と比較すると、全て上回っている。

【特に課題のあった設問】 中1 9-(2) [主語+be動詞+形容詞]の英文の正しい語順を答える問題

9 次の(1)~(4)のそれぞれが、自然な対話となるように、の部分に [ ] 内の語を並べかえて英文を完成しなさい。答えは、左から順に記号で書きなさい。ただし、[ ] 内の語は、文のはじめにくる語も小文字になっています。

(2) A:  . Is it yours?  
B: No, it's my sister's.

[ア new イ this ウ is エ bag ]

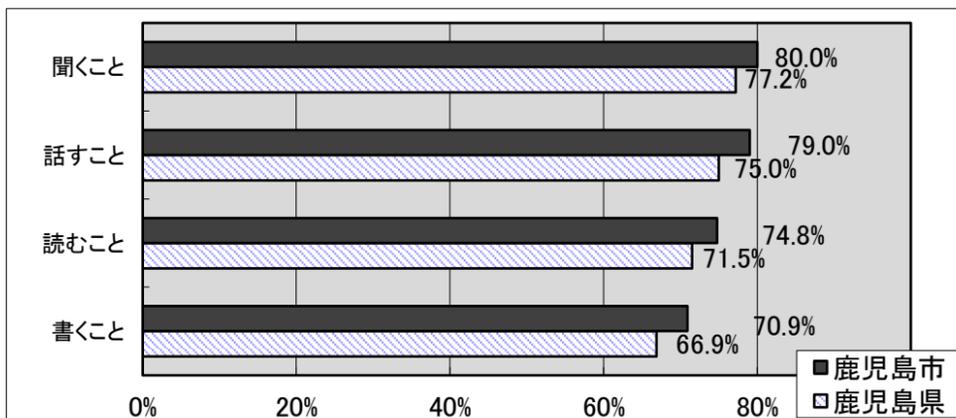
【出題の意図】  
まとまりのある英文を読むその内容に対する英語の質問に適切に答えることができる。

【結果】  
市平均通過率: 3.9%  
県平均通過率: 5.5%  
県との比較: -1.6

- ◆ 初めて見るイラストや実物等を用いて、それらを即興で描写する練習をペアでさせる。
- ◆ H28年度からSushine English Course 1の基本文において、thisやthatの意味を「この～」「あの～」という意味で扱われているのは、疑問詞のついた疑問文や命令文だけである。そのため、「This 名詞 is 形容詞。」の語順の定着が図られるような基礎的なパターンプラクティスや表現活動を年間指導計画に位置付けて指導する必要がある。

イ 中学校2年生

	平均通過率		県との差
	鹿児島市	鹿児島県	
聞くこと	80.0%	77.2%	2.8
話すこと	79.0%	75.0%	4.0
読むこと	74.8%	71.5%	3.3
書くこと	70.9%	66.9%	4.0



- 全ての領域において、70%を越えている。
- 県と比較すると、どの領域もやや上回っている。

【特に課題のあった設問】 中2 3-(1) 読解

(1) 次の英文は、ジェーン (Jane) が、夏休みの間に友人の中学生のユミ (Yumi) に送った電子メールである。英文を読んで、ジェーンの行動を表す絵の順番として最も適当なものを、ア～エの中から一つ選び、その記号を書け。

Hi, Yumi.  
How are you?  
My summer vacation is very fun.  
I went to Kyoto with my friend last week.  
We stayed there for three days.  
On the first day, we had Kyoto dishes\*.  
I liked them very much.  
On the second day, we went to some temples\*.  
They have beautiful gardens\*.  
We had the experience\* of going to Japanese tea ceremony\* at a temple.  
We really enjoyed it.  
On the last day, we went shopping\*.  
Before shopping, we wore\* beautiful Japanese Yuzata and took\* many pictures.  
I will meet you at school next week.  
I'm looking forward to\* talking with you about our summer vacation.  
See you soon.

【出題の意図】 まとまりのある英文を読み、時間の経過に注意して内容を把握することができるか。

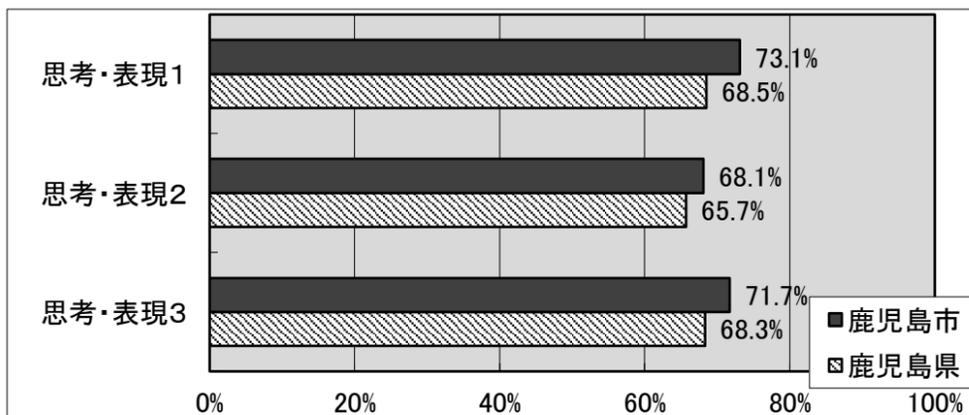
【結果】  
市平均通過率：34.8%  
県平均通過率：34.7%  
県との比較：0.1

- ◆ 接続詞の意味に注意して、時間の経過に注意して、長文の内容を正しく読み取る練習をさせる。

(3) 思考・表現

ア 中学校1年生

	平均通過率		県との差
	鹿児島市	鹿児島県	
思考・表現1	73.1%	68.5%	4.6
思考・表現2	68.1%	65.7%	2.4
思考・表現3	71.7%	68.3%	3.4



- 「思考・表現1」「思考・表現3」は70%を越え、「思考・表現2」も70%弱で、概ね定着が図られている。
- 県と比較しても、「思考・表現1」「思考・表現2」は上回っており、「思考・表現3」はやや上回っている。

【特に課題のあった設問】 中1 8-(1) 読解

8 次は、英語の授業でユミ (Yumi) が写真を使って友達を紹介するためのスピーチの原稿です。英文を読んで、英語の質問に対する最も適当な答えをア～エの中からそれぞれ一つ選び、その記号を書きなさい。

Hi, I'm Sato Yumi. This is a picture of my friend Judy.  
She lives in Miami\* with her family. Their house has a swimming pool\*. They swim there.  
Judy is a junior high school student. She is a very good basketball player. I talk with her on the Internet\* every Sunday. I teach\* Japanese to her and she teaches English to me. She speaks English and Japanese.  
She has a brother. His name is Mike. He practices karate every day. Judy likes karate, too. Mike teaches it to her.  
I like them very much.

【出題の意図】 まとまりのある英文を読んで、その内容に対する英語の質問に適切に答えることができる

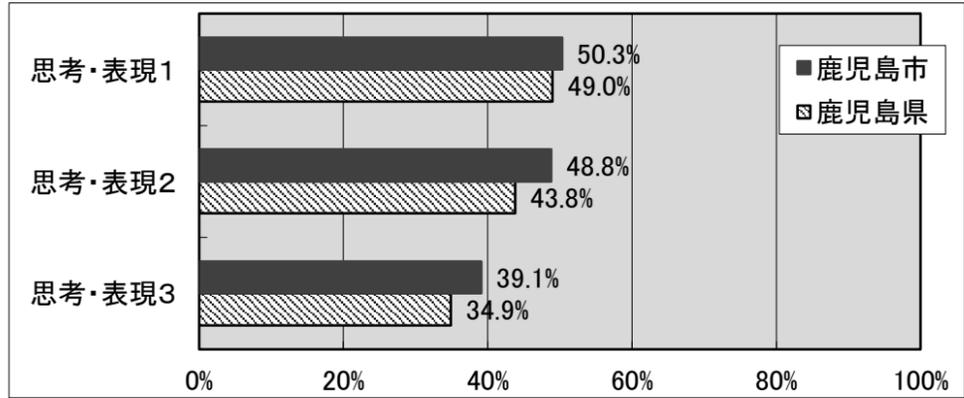
【結果】  
市平均通過率：39.8%  
県平均通過率：34.9%  
県との比較：4.9

(1) Are Judy and Mike friends? ア Yes, she is . イ Yes, they are. ウ No, he is not. エ No, they are not.

- ◆ 比較的長い文章を読む際に、大意か、情報の読み取りか、読む目的や視点を与えてから読む練習をさせる。
- ◆ 教科書本文の解説だけでなく、長文の内容についてペアで英問を作らせたり、オープンクエスチョンを与え、グループで話し合わせたりするなど、協働学習を取り入れる。

イ 中学校2年生

	平均通過率		県との差
	鹿児島市	鹿児島県	
思考・表現1	50.3%	49.0%	1.3
思考・表現2	48.8%	43.8%	5.0
思考・表現3	39.1%	34.9%	4.2



- 「思考・表現3」は50%を下回っている。
- 県と比較すると、「思考・表現2」は上回り、「思考・表現1」「思考・表現3」はやや上回っている。

【特に課題のあった設問】 中2 9-(2)読解

<p>Now I have some favorite players. ㉔ <u>Mr. Kuwazuru is one of them.</u> He is tall and he always runs hard. Who is your favorite sports player? Please tell me about it.</p> <p>I will visit Kagoshima on December 28 and I want to see you! I'll stay there for a week. I read a book about Japanese culture* in the library and I learned about Omisoka. It's very interesting. I want to eat soba and hit the bell* in a temple* with you.</p> <p>Please write me about your winter ( ㉔ ).</p> <p style="text-align: right;">Your friend, Lucy</p> <p>(2) 下線部㉔の理由を15字程度の日本語で説明せよ。</p>	<p>【出題の意図】 前後の文から、論理的な文の構造に気付き、下線部の理由を日本語で説明することができる。</p> <p>【結果】 市平均通過率：24.3% 県平均通過率：19.2% 県との比較：5.1</p>
---	---

- ◆ 登場人物の考えや発言の根拠を文中から探して具体的に説明する問題について、個で考えた後にペアやグループで考えさせたり、学級全体で答えや意見を交換する活動を取り入れる。
- ◆ 家庭学習においても、一度読んだ教科書の本文だけでなく、初めて読む長文を用いた演習問題に定期的に取り組みさせる。

V 各教科の設問ごとの正答数, 誤答数, 無答数(県・市)

小学校 5年 国語

1 正答(準正答)数	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		13		14		15		16		17		18		19		20		21		22		23		24		25		26		27		28		29		30	
大問番号	[1]						[2]						[3]						[4]						[5]						[6]																													
中間番号	一		二		三		一		二		三		四		一		二		三		四		一		二		三		四		一		二		三		四		一		二		三		四															
小問番号	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	①	②	1	2	I	II	1	観点①	観点②	観点③	①	②	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2										
基( )・思考	伝国	話す聞く	話す聞く	1	読む	読む	3	3	書く	2	2・3	2・3	2・3	読む																																														
県受験者数	13820	13820	13819	13820	13820	13822	13820	13820	13820	13820	13820	13820	13820	13820	13820	13820	13818	13818	13819	13820	13818	13818	13818	13818	13818	13818	13818	13818	13818	13818	13818	13818	13818	13818	13818	13818	13818	13818	13818	13818	13818	13818	13818	13818	13818	13818	13818	13818	13818	13818	13818	13818	13818							
市受験者数	4961	4961	4961	4961	4961	4962	4961	4961	4961	4961	4961	4961	4961	4961	4961	4961	4961	4961	4961	4961	4961	4961	4961	4961	4961	4961	4961	4961	4961	4961	4961	4961	4961	4961	4961	4961	4961	4961	4961	4961	4961	4961	4961	4961	4961	4961	4961	4961	4961	4961	4961	4961								
県正答数合計	10305	11105	10314	10437	8648	6620	11319	11346	12712	13196	10217	12779	12524	6363	7239	9374	8755	8893	6645	5607	8809	4757	11692	11019	11087	11197	11446	10046	8881	10605																														
県通過率	74.6%	80.4%	74.6%	75.5%	62.6%	47.9%	81.9%	82.1%	92.0%	95.5%	73.9%	92.5%	90.6%	46.0%	52.4%	67.8%	63.4%	64.4%	48.1%	40.6%	63.8%	34.4%	84.6%	79.7%	80.2%	81.0%	82.8%	72.7%	64.3%	76.7%																														
市通過率	75.0%	80.3%	74.9%	75.5%	62.0%	43.2%	82.5%	81.4%	92.0%	95.4%	73.0%	93.5%	92.1%	46.5%	54.8%	69.7%	65.8%	68.6%	52.1%	43.0%	64.6%	36.1%	86.2%	82.0%	81.7%	81.9%	84.1%	73.5%	64.5%	77.1%																														
市通過率一県	0.5%	0.0%	0.2%	0.0%	-0.5%	-4.6%	0.6%	-0.7%	0.0%	-0.1%	-0.9%	1.1%	1.4%	0.5%	2.5%	1.8%	2.4%	4.2%	4.1%	2.5%	0.8%	1.6%	1.6%	2.2%	1.5%	0.8%	1.3%	0.8%	0.2%	0.3%																														

基礎・基本	県	市	差
話す聞く	91.5%	92.8%	1.3%
書く	48.1%	52.1%	4.1%
読む	74.0%	75.7%	1.7%
伝国	76.4%	75.9%	-0.5%

思考・表現	県	市	差
思・表1	46.0%	46.5%	0.5%
思・表2	62.4%	63.6%	1.1%
思・表3	65.5%	67.0%	1.5%

2 誤答数

誤答数合計	3331	2274	2848	3198	3764	6497	2472	2445	1084	609	3587	1001	1256	6070	6150	4390	3904	3700	7112	7382	4433	8363	1531	2429	2279	2352	2166	2888	3983	2278
県誤答率	24.1%	16.5%	20.6%	23.1%	27.2%	47.0%	17.9%	17.7%	7.8%	4.4%	26.0%	7.2%	9.1%	43.9%	44.5%	31.8%	28.3%	26.8%	51.5%	53.4%	32.1%	60.5%	11.1%	17.6%	16.5%	17.0%	15.7%	20.9%	28.8%	16.5%
市誤答率	23.8%	16.2%	20.6%	23.0%	27.4%	51.4%	17.4%	18.4%	7.9%	4.5%	26.9%	6.2%	7.7%	44.2%	42.5%	29.9%	26.8%	23.4%	47.5%	51.5%	31.4%	59.6%	9.6%	15.6%	15.3%	16.1%	14.2%	19.8%	28.2%	15.7%

3 無答数

無答数合計	184	441	657	185	1408	705	29	29	24	15	16	40	40	1387	431	54	1159	1226	63	829	576	698	595	370	452	269	206	884	954	935
県無答率	1.3%	3.2%	4.8%	1.3%	10.2%	5.1%	0.2%	0.2%	0.2%	0.1%	0.1%	0.3%	0.3%	10.0%	3.1%	0.4%	8.4%	8.9%	0.5%	6.0%	4.2%	5.1%	4.3%	2.7%	3.3%	1.9%	1.5%	6.4%	6.9%	6.8%
市無答率	1.2%	3.4%	4.5%	1.4%	10.5%	5.3%	0.1%	0.2%	0.1%	0.1%	0.1%	0.2%	0.2%	9.3%	2.6%	0.4%	7.4%	8.0%	0.4%	5.5%	4.1%	4.3%	4.3%	2.4%	3.0%	2.0%	1.7%	6.8%	7.3%	7.2%

小学校 5年 社会

1 正答(準正答)数	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		13		14		15		16		17		18		19		20		21		22		23		24		25		26		27	
大問番号	[1]						[2]						[3]						[4]						[5]						[6]																							
中間番号	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)																										
小問番号	①	②	①	②	①	②	①	②	③	①	②	③	①	②	③	①	②	③	④	①	②	③	④	①	②	③	④	⑤																										
基( )・思考	国土	国土	国土	国土	国土	国土	2	3	農業	農業	農業	2	農業	農業	3	水産	水産	水産	1	3	1	工業	工業	工業	工業	運輸・貿易	2																											
県受験者数	13773	13773	13773	13773	13773	13773	13773	13773	13773	13773	13772	13772	13772	13772	13771	13772	13772	13771	13772	13772	13771	13771	13771	13771	13771	13771	13771	13771	13771	13771	13771	13771	13771	13771	13771	13771	13771	13771	13771	13771	13771	13771	13771	13771	13771	13771	13771	13771	13771	13771	13771			
市受験者数	4938	4938	4938	4938	4938	4938	4938	4938	4938	4937	4937	4938	4938	4938	4938	4938	4938	4937	4938	4938	4937	4937	4937	4937	4937	4937	4937	4937	4937	4937	4937	4937	4937	4937	4937	4937	4937	4937	4937	4937	4937	4937	4937	4937	4937	4937	4937	4937	4937	4937				
県正答数合計	9380	7720	2908	5237	11062	7334	6315	7469	9356	12286	9794	9453	8682	10745	9071	8369	10907	7319	9079	9954	6840	10266	9694	10648	3229	6793																												
県通過率	68.1%	56.1%	21.1%	38.0%	80.3%	53.2%	45.9%	54.2%	67.9%	89.2%	71.1%	68.6%	63.0%	78.0%	65.9%	60.8%	79.2%	53.1%	65.9%	72.3%	49.7%	74.5%	70.4%	77.3%	23.4%	49.3%																												
市通過率	70.4%	54.4%	20.9%	39.9%	80.4%	53.3%	48.8%	56.6%	68.5%	87.7%	70.9%	70.1%	63.5%	79.8%	67.8%	61.0%	78.8%	51.8%	67.6%	72.6%	52.9%	72.9%	68.0%	77.2%	21.8%	50.2%																												
市通過率一県	2.3%	-1.7%	-0.2%	1.9%	0.1%	0.1%	3.0%	2.4%	0.6%	-1.5%	-0.2%	1.5%	0.5%	1.8%	2.0%	0.2%	-0.4%	-1.4%	1.7%	0.3%	3.2%	-1.6%	-2.4%	-0.1%	-1.6%	0.9%																												

基礎・基本	県	市	差
国土の様子	52.8%	53.2%	0.4%
農業	73.9%	74.1%	0.2%
水産業	70.0%	69.9%	-0.1%
工業	68.0%	67.7%	-0.2%
運輸・貿易	23.4%	21.8%	-1.6%

思考・表現	県	市	差
思・表1	62.7%	62.2%	-0.5%
思・表2	54.6%	56.4%	1.8%
思・表3	62.0%	64.0%	2.0%

2 誤答数

誤答数合計	4052	5646	10330	8055	2405	6335	6747	6110	4325	1407	3904	3687	4538	2948	4475	4754	2718	5244	4571	3386	6480	2869	3462	2099	8856	6006
県誤答率	29.4%	41.0%	75.0%	58.5%	17.5%	46.0%	49.0%	44.4%	31.4%	10.2%	28.3%	26.8%	33.0%	21.4%	32.5%	34.5%	19.7%	38.1%	33.2%	24.6%	47.1%	20.8%	25.1%	15.2%	64.3%	43.6%
市誤答率	27.0%	42.5%	75.4%	56.8%	17.2%	45.8%	46.2%	42.1%	30.8%	11.6%	28.5%	25.4%	32.7%	19.5%	30.8%	34.3%	20.1%	39.7%	31.5%	24.7%	43.9%	22.5%	27.5%	15.4%	65.7%	42.4%

3 無答数

無答数合計	341	407	535	481	306	104	711	194	92	79	74	632	552	79	225	649	147	1208	122	432	451	636	615	1024	1686	972
県無答率	2.5%	3.0%	3.9%	3.5%	2.2%	0.8%	5.2%	1.4%	0.7%	0.6%	0.5%	4.6%	4.0%	0.6%	1.6%	4.7%	1.1%	8.8%	0.9%	3.1%	3.3%	4.6%	4.5%	7.4%	12.2%	7.1%
市無答率	2.6%	3.1%	3.																							



中学校 1年 数学

1 正答(不正答)数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30															
大問番号	[1]					[2]					[3]					[4]					[5]					[6]					[7]					[8]									
中間番号	1					2					3					1					2					1					2					1					2				
小問番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(1)	(2)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)					
基( )・思考	数と式	図形	図形	図形	図形	図形	関数	資料の活用	資料の活用	1	3	2	1	1	3	1	3	1	1	3	1	3	1																						
県受験者数	13213	13213	13213	13213	13213	13213	13213	13213	13213	13213	13213	13213	13213	13213	13213	13145	12946	13212	13212	13212	13213	13213	13213	13213	13213	13213	13197	13196	13212	13212	13212	13197	13196	13212	13212	13212									
市受験者数	4739	4739	4739	4739	4739	4739	4739	4739	4739	4739	4739	4739	4739	4739	4739	4739	4739	4739	4739	4739	4739	4739	4739	4739	4739	4739	4739	4739	4739	4739	4739	4739	4739	4739	4739	4739	4739	4739							
正答数合計	11368	10370	10586	10223	7212	5122	12453	11431	11093	10230	7918	11915	6240	11708	8273	11138	7557	8062	8518	6348	8849	11481	8800	6505	11374	7717	1026	5779	2106	1949															
県通過率	86.0%	78.5%	80.1%	77.4%	54.6%	38.8%	94.2%	86.5%	84.0%	77.4%	59.9%	90.2%	47.2%	88.6%	62.6%	84.3%	57.5%	62.3%	64.5%	48.0%	67.0%	86.9%	66.6%	49.2%	86.1%	58.5%	7.8%	43.7%	15.9%	14.8%															
市通過率	86.5%	80.1%	81.5%	77.8%	55.2%	43.1%	95.1%	87.5%	85.1%	81.0%	60.3%	90.4%	50.1%	90.7%	63.5%	85.8%	56.4%	63.6%	64.2%	51.2%	68.9%	88.0%	68.6%	50.3%	86.8%	59.5%	8.8%	45.7%	15.0%	15.8%															
市通過率一県	0.4%	1.6%	1.4%	0.4%	0.6%	4.3%	0.9%	1.0%	1.2%	3.6%	0.3%	0.3%	2.8%	2.1%	0.9%	1.5%	-1.1%	1.4%	-0.3%	3.1%	1.9%	1.1%	2.0%	1.0%	0.7%	1.1%	1.1%	2.0%	-1.0%	1.0%															

基礎・基本	県	市	差	思考・表現	県	市	差
数と式	73.4%	74.9%	1.5%	思・表1	58.0%	59.2%	1.2%
図形	71.1%	72.0%	0.9%	思・表2	49.2%	50.3%	1.0%
関数	64.5%	64.2%	-0.3%	思・表3	30.1%	30.8%	0.7%
資料の活用	57.5%	60.0%	2.5%				

2 誤答数

誤答数合計	1801	2790	2508	2232	5486	8021	705	1616	1658	2402	5103	914	6218	1433	4831	1774	5457	4773	4612	5582	3989	1619	4191	5914	1661	5229	7603	4727	6346	7588
県誤答率	13.6%	21.1%	19.0%	16.9%	41.5%	60.7%	5.3%	12.2%	12.5%	18.2%	38.6%	6.9%	47.1%	10.8%	36.6%	13.4%	41.5%	36.9%	34.9%	42.2%	30.2%	12.3%	31.7%	44.8%	12.6%	39.6%	57.6%	35.8%	48.0%	57.4%
市誤答率	13.3%	19.6%	17.8%	16.4%	41.1%	56.3%	4.4%	11.2%	11.7%	15.6%	38.3%	6.8%	45.2%	8.7%	35.7%	12.3%	42.7%	35.5%	35.2%	39.3%	28.4%	11.1%	29.6%	44.0%	11.8%	38.5%	57.9%	34.5%	50.2%	58.0%

3 無答数

無答数合計	44	53	119	758	515	70	55	166	462	581	192	384	755	72	109	301	131	111	82	1282	374	113	222	794	177	251	4567	2706	4760	3675
県無答率	0.3%	0.4%	0.9%	5.7%	3.9%	0.5%	0.4%	1.3%	3.5%	4.4%	1.5%	2.9%	5.7%	0.5%	0.8%	2.3%	1.0%	0.9%	0.6%	9.7%	2.8%	0.9%	1.7%	6.0%	1.3%	1.9%	34.6%	20.5%	36.0%	27.8%
市無答率	0.2%	0.3%	0.7%	5.8%	3.7%	0.5%	0.4%	1.3%	3.1%	3.4%	1.4%	2.7%	4.7%	0.6%	0.8%	1.9%	0.9%	0.9%	0.6%	9.6%	2.6%	0.9%	1.8%	5.8%	1.5%	1.9%	33.2%	19.8%	34.9%	26.3%

中学校 1年 理科

1 正答(不正答)数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
大問番号	[1]			[2]			[3]			[4]			[5]			[6]			[7]			[8]						
中間番号	I			II																								
小問番号	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)	
基( )・思考	1	生物	1	生物	生物	生物	生物	生物	1	化学	1	3	化学	化学	化学	3	化学	化学	1	物理	物理	2	物理	1	3	地学	地学	地学
県受験者数	13377	13377	13377	13376	13377	13377	13377	13377	13376	13376	13376	13376	13375	13375	13375	13375	13375	13375	12039	11720	11722	13063	13063	13063	13237	13237	13237	
市受験者数	4835	4835	4835	4834	4835	4835	4835	4835	4835	4835	4835	4835	4835	4835	4835	4835	4835	4835	4835	4835	4835	4835	4835	4835	4835	4835	4835	
正答数合計	10746	6319	7648	10751	7389	5627	4868	10923	9068	7396	3688	4050	5096	10644	6980	10136	10459	1915	3924	5807	6422	3755	8019	5314	2693	7482	6609	6594
県通過率	80.3%	47.2%	57.2%	80.4%	55.2%	42.1%	36.4%	81.7%	67.8%	55.3%	27.6%	30.3%	38.1%	79.6%	52.2%	75.8%	78.2%	14.3%	29.3%	48.2%	54.8%	32.0%	61.4%	40.7%	20.6%	56.5%	49.9%	49.8%
市通過率	79.3%	49.8%	59.3%	82.9%	57.6%	44.7%	38.2%	82.5%	71.5%	58.7%	30.2%	30.7%	38.7%	81.1%	54.2%	75.5%	79.9%	14.3%	30.6%	50.2%	55.7%	33.9%	60.1%	40.4%	21.0%	57.2%	55.8%	50.4%
市通過率一県	-1.0%	2.6%	2.1%	2.5%	2.3%	2.7%	1.8%	0.9%	3.7%	3.4%	2.6%	0.4%	0.6%	1.5%	2.0%	-0.3%	1.7%	0.0%	1.2%	2.0%	0.9%	1.9%	-1.3%	-0.3%	0.4%	0.6%	5.9%	0.6%

基礎・基本	県	市	差	思考・表現	県	市	差
物理	55.0%	55.5%	0.6%	思・表1	50.5%	52.0%	1.4%
化学	52.9%	54.5%	1.5%	思・表2	32.0%	33.9%	1.9%
生物	57.2%	59.3%	2.1%	思・表3	42.4%	42.8%	0.4%
地学	52.1%	54.5%	2.4%				

2 誤答数

誤答数合計	2612	7025	4963	2175	5932	7693	8463	2334	3476	5926	8529	9155	7875	2648	5753	3052	2825	10942	8949	5047	4679	7727	4239	7016	8887	5536	5788	5793
県誤答率	19.5%	52.5%	37.1%	16.3%	44.3%	57.5%	63.3%	17.4%	26.0%	44.3%	63.8%	68.4%	58.9%	19.8%	43.0%	22.8%	21.1%	81.8%	66.9%	41.9%	39.9%	65.9%	32.5%	53.7%	68.0%	41.8%	43.7%	43.8%
市誤答率	20.5%	49.8%	35.7%	14.3%	41.9%	54.7%	61.3%	16.6%	23.1%	40.8%	61.3%	67.9%	58.3%	18.3%	41.1%	23.1%	19.4%	82.4%	65.5%	40.1%	39.4%	63.8%	32.8%	53.7%	66.8%	40.8%	38.2%	42.9%

3 無答数

無答数合計	19	33	766	450	56	57	46	120	832	54	1159	171	404	83	642	187	91	518	502	1185	619	240	805	733	1483	219	840	850
県無答率	0.1%	0.2%	5.7%	3.4%	0.4%	0.4%	0.3%	0.9%	6.2%	0.4%	8.7%	1.3%	3.0%	0.6%	4.8%	1.4%	0.7%	3.9%	3.8%	9.8%	5.3%	2.0%	6.2%	5.6%	11.4%	1.7%	6.3%	6.4%
市無答率	0.2%	0.3%	5.0%	2.8%	0.5%	0.6%	0.5%	0.9%	5.4%	0.6%	8.6%	1.5%	3.0%	0.6%	4.7%	1.3%	0.7%	3.3%	4.0%	9.7%	4.9%	2.3%	7.1%	5.9%	12.2%	2.1%	6.0%	6.7%

中学校 1年 英語

1 正答(不正答)数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	
大問番号	[1]			[2]			[3]	[4]	[5]			[6]			[7]	[8]	[9]			[10]			[11]											
中間番号	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)	(3)				
小問番号																																		
基( )・思考	聞く	聞く	聞く	聞く	話す	聞く	話す	聞く	話す	1	1	1	読む	2	2	2	2	書く	書く	書く	書く	話す	書く	3	3	3	3	3						
県受験者数	13252	13251	13251	13251	13186	13250	13251	13251	13251	13251	13251	13251	13251	13251	13251	13251	13251	13251	13251	13251	13251	13251	13186	13251	13251	13251	13250	13196	13189	13196	13187	13186		
市受験者数	4756	4755	4755	4755	4755	4755	4755	4755	4755	4755	4755	4755	4755	4755	4755	4755	4755	4755	4755	4755	4755	4755	4755	4755	4755	4755	4755	4755	4755	4755	4755	4755	4755	
正答数合計	13050	12653	12056	11219	10698	7119	10368	12545	6985	7688	8828	7966	9995	11450	9462	7603	10578	10948	4622	8697	11807	724	10896	9775	4213	7490	6693	11221	10481	10371	9369	8919	7571	
県通過率	98.5%	95.5%	91.0%	84.7%	80.7%	54.0%	78.2%	94.7%	52.7%	58.0%	66.6%	60.1%	75.4%	86.4%	71.4%	57.4%	79.8%	82.6%	34.9%	65.6%	89.1%	5.5%	82.6%	73.8%	31.8%	56.5%	50.5%	85.0%	79.5%	78.6%	71.0%			

中学校 2年 国語

大問番号	[1]					[2]					[3]					[4]			[5]			[6]				
中間番号	一	二	三	四		一	二	三			一	二	三	四		一	二	三	一	二	三	一	二	三		
小問番号			I	II			ア	イ			1	2	3									観点①	観点②	観点③		
基( )・思考	読心	伝国	伝国	伝国	伝国	伝国	書<	2	1	話す聞<	2	2	2	3	3	3										
県受験者数	13081	13081	13081	13081	13080	13081	13081	13081	13080	13080	13080	13081	13081	13081	12959	13026	13081	13081	13047	13047	13048	13048	13048	13048	13048	
市受験者数	4763	4763	4763	4763	4762	4763	4763	4763	4763	4763	4762	4763	4763	4763	4763	4763	4763	4762	4762	4763	4763	4763	4763	4763	4763	
正答数合計	9889	10213	6641	9343	11386	7774	7182	11171	8071	5106	8502	8116	8758	11392	8125	6766	6822	7922	6097	8969	8858	8248	6571	5561	5351	6695
県通過率	75.6%	78.1%	50.8%	71.4%	87.0%	59.4%	54.9%	85.4%	61.7%	39.0%	65.0%	62.0%	67.0%	87.1%	62.7%	51.9%	52.2%	60.6%	46.7%	68.7%	67.9%	63.2%	50.4%	42.6%	41.0%	51.3%
市通過率	76.6%	80.6%	52.1%	74.4%	87.9%	62.6%	59.0%	86.6%	63.8%	41.9%	68.9%	66.4%	68.1%	87.7%	65.0%	51.8%	54.4%	63.8%	49.3%	73.1%	71.3%	65.0%	53.1%	46.5%	45.0%	55.0%
市通過率-県	1.0%	2.5%	1.3%	3.0%	0.9%	3.2%	4.1%	1.2%	2.1%	2.9%	3.9%	4.3%	1.2%	0.6%	2.3%	-0.2%	2.2%	3.3%	2.6%	4.4%	3.4%	1.8%	2.7%	3.9%	4.0%	3.7%

基礎・基本	県	市	差
話す聞<	68.7%	73.1%	4.4%
書<	52.2%	54.4%	2.2%
読心	66.3%	68.5%	2.2%
伝国	66.0%	68.0%	2.0%

思考・表現	県	市	差
思・表1	46.7%	49.3%	2.6%
思・表2	60.5%	63.3%	2.8%
思・表3	45.0%	48.8%	3.8%

2 誤答数

誤答数合計	3154	2379	6364	3626	1586	4598	4998	1857	4951	7820	3457	4265	4089	1411	4767	6134	6118	4950	4604	3350	2991	3647	5060	4726	4768	3475
県誤答率	24.1%	18.2%	48.7%	27.7%	12.1%	35.2%	38.2%	14.2%	37.8%	59.8%	26.4%	32.6%	31.3%	10.8%	36.8%	47.1%	46.8%	37.8%	35.3%	25.7%	22.9%	28.0%	38.8%	36.2%	36.5%	26.6%
市誤答率	23.2%	16.0%	47.5%	24.8%	11.4%	32.3%	34.8%	12.9%	35.8%	57.0%	24.3%	29.5%	30.3%	10.6%	34.5%	47.3%	44.7%	34.6%	33.9%	21.8%	19.8%	26.6%	36.7%	33.3%	33.2%	23.7%

3 無答数

無答数合計	38	489	76	112	108	709	901	53	59	154	1121	699	234	278	67	126	141	209	2346	728	1199	1152	1417	2761	2929	2878
県無答率	0.3%	3.7%	0.6%	0.9%	0.8%	5.4%	6.9%	0.4%	0.5%	1.2%	8.6%	5.3%	1.8%	2.1%	0.5%	1.0%	1.1%	1.6%	18.0%	5.6%	9.2%	8.8%	10.9%	21.2%	22.4%	22.1%
市無答率	0.2%	3.4%	0.4%	0.8%	0.7%	5.1%	6.2%	0.5%	0.5%	1.1%	6.8%	4.2%	1.6%	1.6%	0.5%	0.9%	0.9%	1.5%	16.7%	5.1%	8.8%	8.5%	10.2%	20.2%	21.8%	21.3%

中学校 2年 社会

大問番号	[1]					[2]					[3]					[4]			[5]			[6]						
中間番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)	(4)
基( )・思考	日本構成	日本構成	日本構成	日本構成	3	日本特色	2	日本特色	2	日本特色	日本構成	日本構成	日本構成	1	近世	近世	3	2	近世	近世	近世	近世	1	近世	3	近世	近世	
県受験者数	13029	13029	13029	13029	13029	13029	13029	13020	13029	13029	13029	13029	13028	13030	13029	13030	13029	13029	13029	13029	13029	12997	12996	13029	12996	12996	12996	
市受験者数	4700	4700	4700	4700	4700	4700	4691	4700	4700	4700	4700	4700	4699	4701	4700	4700	4700	4700	4700	4700	4700	4700	4701	4700	4700	4700	4700	
正答数合計	6285	7726	9318	6873	8307	8052	7711	6033	7816	2363	10850	6650	7691	6477	9645	8389	5109	1673	3275	7946	2479	6498	4316	9497	6271	6656	8586	
県通過率	48.2%	59.3%	71.5%	52.8%	63.8%	61.8%	59.2%	46.3%	60.0%	18.1%	83.3%	51.0%	59.0%	49.7%	74.0%	64.4%	39.2%	12.8%	25.1%	61.0%	19.1%	50.0%	33.1%	73.1%	48.3%	51.2%	66.1%	
市通過率	48.5%	60.9%	70.0%	55.3%	65.3%	61.8%	57.1%	47.6%	61.7%	20.5%	85.9%	58.0%	64.1%	52.2%	77.0%	67.8%	41.9%	15.1%	29.3%	59.9%	22.3%	50.1%	35.1%	74.2%	49.8%	51.6%	68.7%	
市通過率-県	0.3%	1.6%	-1.6%	2.5%	1.6%	0.0%	-2.1%	1.2%	1.7%	2.3%	2.6%	7.0%	5.0%	2.5%	3.0%	3.4%	2.7%	2.2%	4.1%	-1.1%	3.2%	0.1%	1.9%	1.1%	1.5%	0.3%	2.7%	

基礎・基本	県	市	差
日本構成	58.0%	58.7%	0.7%
日本特色	66.1%	66.6%	0.5%
日本構成	55.0%	61.1%	6.0%
近世	53.8%	55.7%	1.9%

思考・表現	県	市	差
思・表1	41.4%	43.6%	2.2%
思・表2	25.8%	27.7%	1.9%
思・表3	50.4%	52.3%	1.9%

2 誤答数

誤答数合計	6053	5112	2413	4587	4527	3757	4187	5835	5020	9996	1130	5959	3424	4897	3318	4564	7800	7484	9366	4914	10223	4383	6683	3377	6574	6201	3150
県誤答率	46.5%	39.2%	18.5%	35.2%	34.7%	28.8%	32.1%	44.8%	38.5%	76.7%	8.7%	45.7%	26.3%	37.6%	25.5%	35.0%	59.9%	57.4%	71.9%	37.7%	78.7%	33.7%	51.3%	26.0%	50.6%	47.7%	24.2%
市誤答率	46.1%	37.7%	19.6%	32.9%	33.4%	28.6%	33.9%	44.0%	36.9%	74.1%	7.3%	39.1%	23.0%	36.5%	22.6%	31.9%	57.5%	57.9%	68.1%	38.9%	75.7%	33.4%	49.7%	24.8%	49.1%	47.4%	22.4%

3 無答数

無答数合計	691	191	1298	1569	195	1220	1131	1152	193	670	1049	420	1913	1656	66	77	120	3872	388	169	295	2115	2030	122	151	139	1260
県無答率	5.3%	1.5%	10.0%	12.0%	1.5%	9.4%	8.7%	8.8%	1.5%	5.1%	8.1%	3.2%	14.7%	12.7%	0.5%	0.6%	0.9%	29.7%	3.0%	1.3%	2.3%	16.3%	15.6%	0.9%	1.2%	1.1%	9.7%
市無答率	5.3%	1.4%	10.4%	11.8%	1.3%	9.6%	9.1%	8.4%	1.4%	5.5%	6.9%	2.9%	12.9%	11.3%	0.4%	0.4%	0.7%	27.1%	2.6%	1.2%	2.0%	16.5%	15.3%	1.0%	1.1%	1.0%	8.9%

中学校 2年 数学

大問番号	[1]					[2]					[3]			[4]	[5]			[6]			[7]			[8]				
中間番号	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3
小問番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)		ア	イ			(1)	(2)																
基( )・思考	数と式	図形	図形	図形	図形	関数	関数	関数	1	1	1	1	1	3	1	2	2											
県受験者数	12995	12994	12995	12995	12994	12995	12995	12995	12995	12995	12995	12862	12761	12760	12995	12995	12994	12995	12995	12995	12994	12994	12994	12994	12994	12994	12994	
市受験者数	4684	4683	4684	4685	4683	4684	4684	4684	4684	4684	4684	4684	4684	4684	4684	4684	4684	4684	4684	4684	4684	4683	4684	4684	4684	4684	4684	
正答数合計	12194	10133	10344	9051	8975	7441	6580	9647	11403	11600	10273	10149	9276	8917	11735	8928	7340	6624	12159	9332	8826	5615	10192	3458	6700	2631	3430	
県通過率	93.8%	78.0%	79.6%	69.6%	69.1%	57.3%	50.6%	74.2%	87.7%	89.3%	79.1%	78.9%	72.7%	69.9%	90.3%	68.7%	56.5%	51.0%	93.6%	71.8%	67.9%	43.2%	78.4%	26.6%	51.6%	20.2%	26.4%	
市通過率	94.4%	80.3%	81.6%	71.4%	70.7%	60.9%	52.0%	78.5%	90.0%	91.1%	81.0%	81.1%	75.1%	72.9%	91.8%	70.9%	56.1%	52.5%	94.9%	74.6%	71.0%	45.8%	79.1%	29.1%	58.4%	24.3%	32.1%	
市通過率-県	0.5%	2.3%	2.0%	1.7%	1.6%	3.6%	1.4%	4.3%	2.3%	1.8%	2.0%	2.2%	2.4%	3.0%	1.5%	2.2%	-0.4%	1.5%	1.3%	2.8%	3.1%	2.6%	0.7%	2.5%	6.8%	4.1%	5.7%	

基礎・基本	県	市	差
数と式	74.9%	77.1%	2.2%
図形	78.2%	80.4%	2.2%
関数	58.7%	59.8%	1.1%

思考・表現	県	市	差
思・表1	67.8%	70.6%	2.9%
思・表2	23.3%	28.2%	4.9%
思・表3	26.6%	29.1%	2.5%

2 誤答数

誤答数合計	759	2706	2552	3325	3201	4782	4995	1907	1008	751	1676	2479	2561	3712	1179	3946	5459	4623	579	2307	2737	6994	1349	5073	4864	8941	6521
県誤答率	5.8%	20.8%	19.6%	25.6%	24.6%	36.8%	38.4%	14.7%	7.8%	5.8%	12.9%	19.3%	20.1%	29.1%	9.1%	30.4%	42.0%	35.6%	4.5%	17.8%	21.1%	53.8%	10.4%	39.0%	37.4%	68.8%	50.2%
市誤答率	5.4%	18.8%	17.8%	24.4%	24.0%	34.8%	38.6%	12.1%	6.6%	5.1%	10.6%	17.3%	18.6%	26.2%	7.6%	28.2%	42.4%	35.3%	3.7%	16.1%	19.6%	51.4%	10.6%	37.2%	32.1%	66.2%	47.2%

3 無答数

無答数合計	42	155	99	619	818	772	1420	1441	584
-------	----	-----	----	-----	-----	-----	------	------	-----

中学校 2年 理科

1 正答(準正答)数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	
大問番号	[1]	[2]				[3]				[4]				[5]				[6]				[7]				[8]			
中間番号	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)	
小問番号	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)	
基( )思考	化学	化学	3	化学	化学	化学	1	生物	生物	3	生物	生物	生物	2	地学	地学	地学	2	地学	地学	3	地学	地学	地学	2	物理	物理	1	
県受験者数	13090	13090	13089	13090	13090	13089	13089	13091	13091	13091	13089	13090	13090	13089	13089	13090	13090	12588	12588	12584	12356	12318	12318	12355	13091	13090	13091		
市受験者数	4771	4772	4771	4772	4772	4771	4771	4772	4772	4772	4771	4772	4772	4771	4771	4772	4772	4519	4519	4518	4304	4303	4303	4303	4772	4771	4772		
正答数合計	6014	9313	4668	8358	5157	3385	8174	10835	11668	9390	10738	6636	6411	8254	10328	4325	9707	4688	10852	9745	3431	770	9326	7128	3730	7249	6521	2265	
県通過率	45.9%	71.1%	35.7%	63.9%	39.4%	25.9%	62.4%	82.8%	89.1%	71.7%	82.0%	50.7%	49.0%	63.1%	78.9%	33.0%	74.2%	35.8%	86.2%	77.4%	27.3%	6.2%	75.7%	57.9%	30.2%	55.4%	49.8%	17.3%	
市通過率	46.7%	73.8%	37.9%	63.5%	42.5%	27.2%	65.6%	85.6%	90.9%	73.7%	84.1%	52.3%	50.8%	66.1%	82.1%	34.9%	75.3%	40.2%	87.4%	78.0%	31.7%	6.5%	76.2%	58.4%	31.1%	59.5%	53.3%	19.1%	
市通過率-県	0.8%	2.6%	2.3%	-0.3%	3.1%	1.4%	3.2%	2.8%	1.8%	2.0%	2.1%	1.7%	1.8%	3.0%	3.2%	1.9%	1.1%	4.3%	1.2%	0.6%	4.4%	0.3%	0.4%	0.6%	0.9%	4.1%	3.4%	1.8%	

基礎・基本				思考・表現			
	県	市	差		県	市	差
物理	52.6%	56.4%	3.8%	思・表1	39.9%	42.4%	2.5%
化学	49.2%	50.7%	1.5%	思・表2	43.3%	46.3%	3.0%
生物	70.7%	72.7%	2.0%	思・表3	45.1%	48.1%	2.9%
地学	61.3%	62.7%	1.4%				

2 誤答数

誤答数合計	7052	3246	8100	4686	6300	7930	3445	2217	1143	3580	2299	6315	6577	4688	1887	8439	3283	8186	1666	2748	7647	10753	2858	4972	8398	4790	5550	8640
県誤答率	53.9%	24.8%	61.9%	35.8%	48.1%	60.6%	26.3%	16.9%	8.7%	27.3%	17.6%	48.2%	50.2%	35.8%	14.4%	64.5%	25.1%	62.5%	13.2%	21.8%	60.8%	87.0%	23.2%	40.4%	68.0%	36.6%	42.4%	66.0%
市誤答率	53.2%	22.9%	60.0%	36.3%	46.2%	60.4%	24.1%	14.2%	7.3%	25.5%	15.6%	46.8%	48.7%	32.9%	11.8%	62.7%	24.1%	58.5%	12.1%	21.2%	57.0%	86.7%	22.9%	40.0%	67.2%	33.1%	39.6%	65.0%

3 無答数

無答数合計	24	531	321	46	1633	1774	1470	39	280	121	52	139	102	147	874	325	100	216	70	94	1506	833	134	218	227	1052	1019	2186
県無答率	0.2%	4.1%	2.5%	0.4%	12.5%	13.6%	11.2%	0.3%	2.1%	0.9%	0.4%	1.1%	0.8%	1.1%	6.7%	2.5%	0.8%	1.7%	0.6%	0.7%	12.0%	6.7%	1.1%	1.8%	1.8%	8.0%	7.8%	16.7%
市無答率	0.1%	3.4%	2.1%	0.2%	11.3%	12.4%	10.3%	0.2%	1.8%	0.8%	0.3%	0.8%	0.6%	1.0%	6.1%	2.3%	0.6%	1.4%	0.4%	0.8%	11.3%	6.9%	1.0%	1.6%	1.7%	7.5%	7.1%	15.8%

中学校 2年 英語

1 正答(準正答)数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	
大問番号	[1]	[2]				[3]	[4]	[5]	[6]				[7]				[8]	[9]				[10]				[11]				[12]						
中間番号	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)	(3)		
小問番号																																				
基( )思考	聞く	聞く	聞く・話す	聞く・話す	聞く・話す	1	1	1	読む	2	2	2	2	書く	書く	書く	書く	3	3	3	3	3	3	3	3	3										
県受験者数	13017	13017	13017	13017	13017	13017	13017	13017	13017	13017	13017	13017	13017	13017	13017	13017	13017	13017	13017	13014	13017	13017	13017	13016	13017	13014	13015	13015	13016	13016	13015	13014	13014	13013		
市受験者数	4695	4695	4695	4695	4695	4695	4695	4695	4695	4695	4695	4695	4695	4695	4695	4695	4695	4695	4695	4695	4692	4695	4695	4695	4695	4695	4693	4694	4694	4694	4694	4694	4693	4691	4693	
正答数合計	8584	12643	11655	10337	8116	8944	3580	9894	5645	4513	7063	10922	10355	10845	10499	10792	9448	9295	7293	2579	6570	6339	10533	8390	8273	7644	3245	5238	4508	7959	5564	5492	3193	3865	1872	
県通過率	65.9%	97.1%	89.5%	79.4%	62.3%	68.7%	27.5%	76.0%	43.4%	34.7%	54.3%	83.9%	79.5%	83.3%	80.7%	82.9%	72.6%	71.4%	56.0%	19.8%	50.5%	48.7%	80.9%	64.5%	63.6%	58.7%	24.9%	40.2%	34.6%	61.1%	42.7%	42.2%	24.5%	29.7%	14.4%	
市通過率	66.4%	97.6%	90.6%	82.3%	66.2%	76.8%	31.0%	75.4%	44.6%	34.8%	60.8%	86.0%	83.2%	86.0%	83.5%	85.8%	78.0%	75.4%	62.2%	24.3%	57.1%	51.7%	82.0%	72.9%	67.5%	61.3%	29.6%	46.9%	40.6%	62.0%	43.7%	47.0%	27.4%	27.4%		
市通過率-県	0.4%	0.5%	1.1%	2.9%	3.8%	8.1%	3.5%	-0.6%	1.2%	0.2%	6.5%	2.1%	3.7%	2.6%	2.8%	5.4%	4.0%	6.2%	4.5%	6.6%	3.0%	1.1%	8.4%	4.0%	2.5%	4.6%	6.6%	5.9%	0.8%	1.0%	4.8%	2.8%	-2.3%	13.0%		

基礎・基本				思考・表現			
	県	市	差		県	市	差
聞くこと	77.2%	80.0%	2.8%	思・表1	49.0%	50.3%	1.4%
話すこと	75.0%	79.0%	4.0%	思・表2	43.8%	48.8%	5.1%
読むこと	71.5%	74.8%	3.4%	思・表3	34.9%	39.1%	4.1%
書くこと	66.9%	70.9%	4.0%				

2 誤答数

誤答数合計	4417	358	1351	2666	4883	4060	9412	3106	7356	8478	5913	2055	2627	2131	2479	2180	3516	3664	5655	7615	6337	6477	2413	4529	4643	5262	7767	4499	5251	2896	5288	4500	6794	5333	7316
県誤答率	33.9%	2.8%	10.4%	20.5%	37.5%	31.2%	72.3%	23.9%	56.5%	65.1%	45.4%	15.8%	20.2%	16.4%	19.0%	16.7%	27.0%	28.1%	43.4%	58.5%	48.7%	49.8%	18.5%	34.8%	35.7%	40.4%	59.7%	34.6%	40.3%	22.2%	40.6%	34.6%	52.2%	41.0%	56.2%
市誤答率	33.6%	2.3%	9.4%	17.7%	33.8%	23.2%	68.8%	24.6%	55.3%	65.0%	38.9%	13.7%	16.6%	13.8%	16.3%	14.0%	21.7%	24.2%	37.4%	55.6%	42.3%	47.1%	17.5%	26.5%	31.9%	38.1%	56.8%	30.2%	36.5%	21.9%	40.0%	30.7%	50.4%	36.1%	53.9%

3 無答数

無答数合計	16	16	11	14	18	13	25	17	16	26	41	40	35	41	39	45	53	58	69	2820	110	201	71	98	100	111	2002	3278	3256	2161	2164	3023	3026	3816	3825
県無答率	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.2%	0.1%	0.1%	0.2%	0.3%	0.3%	0.3%	0.3%	0.3%	0.4%	0.4%	0.5%	21.7%	0.8%	1.5%	0.5%	0.8%	0.8%	0.9%	15.4%	25.2%	25.0%	16.6%	16.6%	23.2%	23.3%	29.3%	29.4%	
市無答率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.1%	0.1%	0.3%	0.3%	0.2%	0.2%	0.2%	0.3%	0.3%	0.4%	0.4%	20.1%	0.7%	1.3%	0.4%	0.6%	0.6%	0.7%	13.7%	22.9%	22.9%	16.1%	16.2%	22.3%	22.3%	27.7%	27.8%

## VI 学習状況調査

### 太枠・・・分析において注目したデータ

※ 平成27年度と平成28年度の結果が比較できる設問のみ、それぞれの結果を示している。

- 1 家では、自分で学習（宿題や自分で計画した学習）していますか。

	小5		中1		中2	
	本市	本県	本市	本県	本市	本県
① している。	53.5%	54.1%	50.3%	50.7%	43.1%	46.2%
② どちらかといえばしている。	30.3%	29.5%	31.0%	30.3%	30.1%	29.7%
③ あまりしていない。	14.0%	13.9%	16.6%	16.4%	21.6%	19.8%
④ していない。	2.1%	2.4%	2.1%	2.5%	4.8%	4.1%

- 2 あなたが自分で考えてやる宿題（自学ノートなど）の内容は、どんなものが多いですか。

	小5		中1		中2	
	本市	本県	本市	本県	本市	本県
① ドリル等の問題をする。	26.9%	25.8%	22.2%	19.6%	23.7%	20.5%
② 教科書や問題集の練習問題をする。	26.3%	25.7%	38.6%	37.8%	39.6%	39.9%
③ 教科書や参考書の文章や図、グラフなどを書き写す。	12.4%	12.5%	13.3%	15.2%	11.1%	12.9%
④ 自分でテーマを決めて調べ学習をする。	11.5%	12.9%	5.1%	5.9%	3.4%	3.4%
⑤ 次の時間の予習をする。	10.5%	10.3%	6.4%	6.3%	3.1%	3.6%
⑥ 計画を立てて学習していない。	12.3%	12.7%	14.4%	15.2%	19.1%	19.6%

- 3 あなたは、家で学習しているときに、分からない問題があったら、どうしますか。

	小5		中1		中2				
	本市	本県	本市	本県	本市	本県			
	H27	H28	H27	H28	H27	H28			
① 後で、学校の先生に聞く。	2.4%	3.1%	3.7%	2.2%	3.2%	3.4%	2.9%	3.8%	4.0%
② 後で、友達に聞く。	4.4%	5.3%	6.2%	10.5%	12.2%	14.4%	14.6%	14.0%	17.2%
③ 後で、塾の先生や家庭教師の先生に聞く。	3.6%	4.4%	3.0%	10.2%	12.1%	8.3%	15.9%	16.8%	12.1%
④ 家族や親戚に聞く。	59.3%	56.4%	54.7%	42.7%	37.3%	36.1%	28.0%	25.0%	23.8%
⑤ 自分で調べる。	21.8%	25.7%	27.0%	24.4%	27.0%	29.0%	27.9%	30.5%	32.5%
⑥ そのままにしておくことが多い。	5.9%	5.0%	5.2%	9.9%	8.2%	8.7%	10.0%	9.8%	10.1%

#### 【調査1～3】 家庭学習に関する状況及び分からない問題があったときの児童生徒の意識

調査1の③、④から、2割程度の児童生徒は家庭学習が定着しておらず、その割合は学年が上がるにつれ増えている。

調査2の④「自分でテーマを決めて調べ学習をする」と回答した児童生徒が学年が上がるにつれ少なくなっている。調査3について、家で学習で分からない問題があったら、⑥「そのままにしておくことが多い」と回答する児童生徒が、学年が上がるにつれ増えており、この傾向は昨年度から引き続き改善されていない。

教師は、児童生徒に分からない問題等にマーカーや付箋をつけさせるなどしてその状況を把握し、全体指導や個別指導に反映させる必要がある。

- 4 あなたは、授業中にどのような内容についてノートをとっていますか。

	小5		中1		中2				
	本市	本県	本市	本県	本市	本県			
	H27	H28	H27	H28	H27	H28			
① 板書してあることを写している。	37.7%	37.7%	37.0%	50.0%	49.1%	50.4%	53.6%	54.2%	55.0%
② 板書してあることを写すだけでなく、自分や友達の考えも書き込んでいる。	29.0%	30.5%	30.7%	10.8%	10.6%	11.2%	6.3%	7.3%	7.8%
③ 板書してあることを写すだけでなく、先生の言葉も書き込んでいる。	13.4%	13.6%	12.8%	26.9%	27.9%	26.3%	28.8%	27.1%	26.5%
④ 先生が指示したところだけ書いている。	6.9%	6.8%	8.2%	2.1%	1.8%	2.5%	1.8%	1.5%	1.7%
⑤ 板書を参考に、自分なりにまとめ直ししながら書いている。	9.6%	10.5%	10.5%	9.4%	9.8%	8.7%	7.6%	8.5%	7.6%
⑥ ノートは、ほとんどとらない。	0.8%	0.7%	0.7%	0.8%	0.7%	0.7%	1.1%	1.2%	1.0%

#### 【調査4】 授業中のノートのとり方に関する児童生徒の意識

①～③及び⑤から、ノートをとることは、ある程度定着が図られている。

⑤「自分なりにまとめ直ししながら書いている」とする生徒は、学年が上がるにつれて減っている。

改めてノートをとることの意義（ノートは板書を書き写すだけのものではない）を指導する必要がある。板書で大事な所をノートに整理して書くことに加え、自分の考えが変化していく過程が確認できるように授業では以下のア～ウの学習活動を取り入れる（ア 自分の考えをノートに書く → イ それを基にした話し合い活動 → ウ 自分の考えの修正・まとめ）

- 5 あなたが、初めてのことを学習するときの気持ちはどれですか。

	小5		中1		中2				
	本市	本県	本市	本県	本市	本県			
	H27	H28	H27	H28	H27	H28			
① どんなことを学ぶのか楽しみだ。	38.3%	36.2%	37.7%	20.2%	19.4%	20.7%	15.4%	16.2%	16.3%
② 自分が好きな学習のときは楽しみだ。	22.7%	29.2%	27.8%	30.3%	32.9%	32.4%	29.8%	32.2%	32.5%
③ 特に何も思わない。	15.2%	16.4%	16.6%	26.3%	25.8%	26.1%	30.3%	31.8%	32.0%
④ できるかどうか(わかるかどうか)、心配だ。	19.7%	16.9%	16.3%	19.9%	19.5%	18.3%	20.6%	16.4%	16.3%
⑤ どうせ自分にはできない(わからない)と、あまり期待しない。	1.4%	1.2%	1.5%	3.1%	2.3%	2.3%	3.1%	3.3%	2.9%

#### 【調査5】 初めてのことを学習するときの児童生徒の意識

学年が上がるにつれ、①「どんなことを学ぶのか楽しみだ」とする生徒が減少し、③「特に何も思わない」とする生徒が増加する傾向は平成27年度から変わっていない。

児童生徒の興味・関心を高め、学びの必然性が感じられるような問題解決的な学習を一層推進する必要がある。そのためには、「～しよう」という行動目標の設定ばかりではなく、「なぜ、～なのだろうか」、「～するにはどうすればよいのだろうか」といった問題意識を高めるように導入を工夫し、解決すべき学習問題(学習課題)を板書に明記する。また、学びの有用性を感じられるよう学習内容と関連した体験や身近な事象を取り入れる。

6 日ごろの授業では、どんな活動をする人が多いですか（教科ごとに2つ選択）。

		小5		中1		中2	
		本市	本県	本市	本県	本市	本県
国語	① 先生の説明を聞く。	46.9%	44.5%	65.7%	65.2%	72.1%	70.0%
	② 学習の手順や方法を考える。	20.1%	20.4%	12.4%	14.0%	12.7%	13.0%
	③ 課題について、調べ学習をする。	12.5%	13.1%	10.1%	11.6%	10.2%	10.8%
	④ 自分でじっくり考える。	16.1%	16.1%	17.4%	18.0%	19.3%	19.3%
	⑤ 自分の考えを文章にまとめる。	38.0%	37.7%	36.3%	35.9%	34.2%	32.6%
	⑥ ペアやグループで、考えを出し合ったり教え合ったりする。	29.5%	31.1%	29.2%	27.3%	30.2%	32.1%
	⑦ 自分の考えや資料をもとに、話し合う。	9.3%	8.4%	6.5%	6.3%	5.0%	5.0%
	⑧ お互いに発表したり、説明したりする。	27.3%	28.1%	21.6%	20.8%	15.4%	16.3%

		小5		中1		中2	
		本市	本県	本市	本県	本市	本県
社会	① 先生の説明を聞く。	44.2%	40.6%	74.2%	73.9%	84.3%	82.2%
	② 学習の手順や方法を考える。	11.1%	10.5%	9.9%	10.7%	14.4%	12.8%
	③ 課題について、調べ学習をする。	39.1%	36.5%	29.9%	30.3%	30.2%	29.7%
	④ 自分でじっくり考える。	18.3%	17.1%	22.0%	20.8%	23.3%	22.2%
	⑤ 自分の考えを文章にまとめる。	12.4%	12.6%	9.5%	8.6%	6.7%	7.4%
	⑥ ペアやグループで、考えを出し合ったり教え合ったりする。	17.3%	20.1%	22.1%	22.2%	20.4%	21.8%
	⑦ 自分の考えや資料をもとに、話し合う。	43.3%	46.5%	18.9%	19.5%	11.3%	13.0%
	⑧ お互いに発表したり、説明したりする。	13.8%	15.4%	12.5%	12.8%	8.5%	9.8%

		小5		中1		中2	
		本市	本県	本市	本県	本市	本県
算数 数学	① 先生の説明を聞く。	43.5%	40.8%	59.8%	59.5%	66.4%	66.2%
	② 学習の手順や方法を考える。	21.7%	22.5%	25.7%	25.2%	28.7%	26.9%
	③ 課題について、調べ学習をする。	7.0%	8.4%	6.0%	7.0%	6.7%	6.7%
	④ 自分でじっくり考える。	45.3%	45.8%	48.7%	49.5%	46.7%	48.6%
	⑤ 自分の考えを文章にまとめる。	12.6%	11.8%	4.5%	4.1%	3.3%	3.2%
	⑥ ペアやグループで、考えを出し合ったり教え合ったりする。	28.9%	29.6%	31.1%	30.4%	29.1%	29.1%
	⑦ 自分の考えや資料をもとに、話し合う。	7.0%	6.5%	5.7%	5.4%	4.0%	4.0%
	⑧ お互いに発表したり、説明したりする。	33.8%	33.9%	17.6%	17.9%	14.1%	14.5%

		小5		中1		中2	
		本市	本県	本市	本県	本市	本県
理科	① 先生の説明を聞く。	53.5%	52.7%	67.4%	68.6%	77.3%	77.4%
	② 学習の手順や方法を考える。	23.0%	24.2%	23.7%	23.3%	27.2%	24.0%
	③ 課題について、調べ学習をする。	23.4%	25.2%	20.7%	20.2%	17.4%	16.9%
	④ 自分でじっくり考える。	17.1%	17.5%	14.1%	15.1%	17.7%	18.6%
	⑤ 自分の考えを文章にまとめる。	12.0%	11.6%	6.5%	6.0%	6.9%	5.7%
	⑥ ペアやグループで、考えを出し合ったり教え合ったりする。	39.1%	37.3%	46.0%	45.4%	36.9%	39.7%
	⑦ 自分の考えや資料をもとに、話し合う。	10.2%	6.5%	8.5%	8.2%	5.3%	6.0%
	⑧ お互いに発表したり、説明したりする。	21.1%	21.0%	12.1%	12.0%	10.4%	10.9%

		小5		中1		中2	
		本市	本県	本市	本県	本市	本県
英語	① 先生の説明を聞く。			68.4%	70.1%	73.5%	71.4%
	② 学習の手順や方法を考える。			9.8%	10.4%	13.1%	11.4%
	③ 課題について、調べ学習をする。			6.7%	7.8%	7.3%	6.8%
	④ 自分でじっくり考える。			17.5%	19.0%	21.1%	21.0%
	⑤ 自分の考えを文章にまとめる。			4.4%	4.2%	6.0%	6.1%
	⑥ ペアやグループで、考えを出し合ったり教え合ったりする。			47.1%	43.8%	43.8%	46.5%
	⑦ 自分の考えや資料をもとに、話し合う。			3.3%	3.3%	2.5%	2.8%
	⑧ お互いに発表したり、説明したりする。			41.3%	39.7%		32.7%

【調査6】 教科指導に関する児童生徒の学び方  
 ①「先生の説明を聞く」が学年が上がるにつれ増加しており、⑤「自分の考えを文章でまとめ」たり、⑦「自分の考えや資料をもとに、話し合」ったりする活動が依然として不十分である。  
 教科の特性を考慮しながら、教師の説明を聞くだけのいわゆる「講義式の授業」に偏るのではなく、できるだけ児童生徒の考える活動や考えを発表したり説明したりする活動を取り入れるなど、「主体的・対話的で深い学び」の実現を図る授業づくりを行う。特に、児童生徒が調査4でも述べたように、自分の考えをノートに書き、それを基に話し合い、自分の考えを修正、発展させていく活動を設定する。

7] あなたは、次のような授業で学んでいて、どのように感じますか。

(1) 先生がくわしく説明してくれる授業

	小5			中1			中2		
	本市		本県	本市		本県	本市		本県
	H27	H28		H27	H28		H27	H28	
① とてもやりがいを感じる。	40.4%	<b>42.9%</b>	41.5%	33.2%	<b>37.4%</b>	36.7%	30.4%	<b>33.3%</b>	32.6%
② やりがいを感じる。	47.4%	<b>47.9%</b>	48.4%	52.3%	<b>50.9%</b>	52.0%	54.4%	<b>52.7%</b>	53.6%
③ あまりやりがいを感じない。	7.4%	<b>7.8%</b>	8.3%	11.7%	<b>10.1%</b>	9.6%	12.1%	<b>11.0%</b>	11.1%
④ やりがいを感じない。	2.0%	<b>1.3%</b>	1.6%	2.5%	<b>1.5%</b>	1.6%	2.2%	<b>2.9%</b>	2.6%
<b>①と②の和</b>	87.8%	<b>90.8%</b>	89.9%	85.5%	<b>88.3%</b>	88.7%	84.8%	<b>86.0%</b>	86.2%

(2) 自分たちで考えたり話し合ったりする授業

	小5			中1			中2		
	本市		本県	本市		本県	本市		本県
	H27	H28		H27	H28		H27	H28	
① とてもやりがいを感じる。	39.5%	<b>40.9%</b>	40.5%	34.8%	<b>38.2%</b>	37.8%	30.7%	<b>34.0%</b>	34.5%
② やりがいを感じる。	46.3%	<b>47.6%</b>	47.7%	48.2%	<b>47.8%</b>	48.3%	51.3%	<b>49.1%</b>	49.6%
③ あまりやりがいを感じない。	9.5%	<b>10.2%</b>	10.2%	13.9%	<b>12.2%</b>	12.1%	14.2%	<b>14.0%</b>	13.0%
④ やりがいを感じない。	2.1%	<b>1.3%</b>	1.5%	3.0%	<b>1.7%</b>	1.8%	2.9%	<b>3.0%</b>	2.9%
<b>①と②の和</b>	85.8%	<b>88.5%</b>	88.1%	83.0%	<b>86.0%</b>	86.0%	82.0%	<b>83.1%</b>	84.0%

(3) 自分たちが発表したり、友達の発表を聞いたりすることが多い授業

	小5			中1			中2		
	本市		本県	本市		本県	本市		本県
	H27	H28		H27	H28		H27	H28	
① とてもやりがいを感じる。	34.0%	<b>35.7%</b>	34.9%	20.4%	<b>23.5%</b>	23.9%	19.7%	<b>18.6%</b>	19.9%
② やりがいを感じる。	48.2%	<b>50.0%</b>	50.1%	53.3%	<b>53.8%</b>	53.6%	52.6%	<b>53.5%</b>	53.7%
③ あまりやりがいを感じない。	12.9%	<b>12.7%</b>	13.0%	22.2%	<b>19.5%</b>	19.3%	22.5%	<b>22.9%</b>	21.6%
④ やりがいを感じない。	2.3%	<b>1.7%</b>	1.9%	3.9%	<b>3.1%</b>	3.1%	4.4%	<b>4.8%</b>	4.6%
<b>①と②の和</b>	82.2%	<b>85.7%</b>	85.0%	73.7%	<b>77.3%</b>	77.5%	72.3%	<b>72.1%</b>	73.6%

(4) 難しい課題に挑戦する授業

	小5			中1			中2		
	本市		本県	本市		本県	本市		本県
	H27	H28		H27	H28		H27	H28	
① とてもやりがいを感じる。	48.9%	<b>51.7%</b>	50.2%	39.1%	<b>41.4%</b>	40.5%	33.2%	<b>34.3%</b>	34.8%
② やりがいを感じる。	31.7%	<b>31.2%</b>	31.7%	35.8%	<b>36.5%</b>	38.0%	39.5%	<b>40.4%</b>	41.2%
③ あまりやりがいを感じない。	12.8%	<b>13.2%</b>	13.8%	19.1%	<b>17.0%</b>	16.6%	20.6%	<b>19.2%</b>	18.2%
④ やりがいを感じない。	2.3%	<b>3.8%</b>	4.2%	5.9%	<b>4.9%</b>	4.8%	5.8%	<b>6.0%</b>	5.5%
<b>①と②の和</b>	80.6%	<b>82.9%</b>	81.8%	74.9%	<b>77.9%</b>	78.5%	72.7%	<b>74.7%</b>	76.1%

(5) 自分たちで調べて、課題を解決する授業

	小5			中1			中2		
	本市		本県	本市		本県	本市		本県
	H27	H28		H27	H28		H27	H28	
① とてもやりがいを感じる。	54.8%	<b>59.6%</b>	58.1%	45.6%	<b>48.6%</b>	48.8%	39.8%	<b>41.3%</b>	41.7%
② やりがいを感じる。	32.4%	<b>30.1%</b>	31.1%	39.3%	<b>38.1%</b>	38.3%	44.1%	<b>42.7%</b>	43.5%
③ あまりやりがいを感じない。	8.1%	<b>8.4%</b>	8.6%	11.7%	<b>10.5%</b>	10.4%	12.1%	<b>11.8%</b>	11.3%
④ やりがいを感じない。	2.0%	<b>1.8%</b>	2.0%	3.0%	<b>2.5%</b>	2.3%	2.9%	<b>3.4%</b>	2.8%
<b>①と②の和</b>	87.2%	<b>89.7%</b>	89.2%	84.9%	<b>86.7%</b>	87.1%	83.9%	<b>84.0%</b>	85.2%

【調査7】 教科指導等に関する児童生徒の学び方や意識の状況

平成27年度と同様に、多くの児童生徒が、(1)「先生がくわしく説明してくれる授業」にやりがいを感じていると回答している。また、(2)「自分たちで考えたり話し合ったりする授業」、(3)「自分たちが発表したり、友達の発表を聞いたりすることが多い授業」、(4)「難しい課題に挑戦する授業」にやりがいを感じると回答した児童生徒が、平成27年度から増加している。

各教科において、調査6で述べたような問題解決的な学習を推進し、「主体的・対話的で深い学び」の実現を図る授業づくりを行う。

8 あなたは、授業中分からないことがあったら、どうしますか。

	小5		中1		中2				
	本市	本県	本市	本県	本市	本県			
	H27	H28	H27	H28	H27	H28			
① 先生に聞く。	23.9%	23.5%	27.9%	16.8%	17.3%	19.8%	15.4%	15.6%	18.3%
② 友達に聞く。	41.4%	39.1%	39.7%	44.0%	47.1%	47.7%	46.0%	44.9%	47.5%
③ 後で、塾の先生や家庭教師の先生に聞く。	2.6%	3.8%	2.3%	8.0%	8.9%	6.4%	11.4%	12.2%	8.2%
④ 後で、家族や親戚に聞く。	16.7%	20.1%	16.4%	13.8%	10.9%	9.8%	8.0%	7.4%	6.4%
⑤ 自分で調べる。	9.0%	10.7%	10.4%	10.8%	10.7%	11.0%	11.7%	12.5%	12.3%
⑥ そのままにしておく。	3.3%	2.7%	2.8%	6.5%	5.0%	5.1%	6.7%	6.5%	6.1%

(1) ①と②を選んだ理由は何ですか。

	小5		中1		中2				
	本市	本県	本市	本県	本市	本県			
	H27	H28	H27	H28	H27	H28			
① 分からないままにしたいくないから。	45.4%	42.8%	45.9%	35.9%	34.1%	35.6%	30.5%	31.3%	34.5%
② 聞いたら分かるかなと思うから。	24.3%	22.5%	25.1%	28.7%	29.9%	32.3%	32.4%	32.7%	38.8%
③ 先生や友達は聞きやすいから。	20.4%	19.9%	19.1%	23.6%	24.3%	23.5%	19.6%	22.8%	23.1%

(2) ③と④を選んだ理由は何ですか。

	小5		中1		中2				
	本市	本県	本市	本県	本市	本県			
	H27	H28	H27	H28	H27	H28			
① 説明が分かりやすいから。	24.0%	21.8%	20.2%	21.7%	24.1%	22.6%	19.6%	24.9%	31.3%
② いつも聞いているから。	13.8%	11.8%	12.1%	12.5%	11.4%	11.7%	8.8%	10.4%	14.8%
③ 聞きやすいから。	19.7%	17.4%	16.8%	20.5%	18.5%	18.4%	13.0%	15.9%	22.3%

(3) ⑤を選んだ理由は何ですか。

	小5		中1		中2				
	本市	本県	本市	本県	本市	本県			
	H27	H28	H27	H28	H27	H28			
① 自分で調べたいから。	33.2%	25.4%	28.7%	30.8%	32.1%	36.2%	25.0%	33.9%	57.0%
② 自分で調べるように先生に言われているから。	1.7%	0.7%	0.9%	1.2%	0.6%	0.7%	1.0%	1.4%	1.2%
③ だれにも聞くことができないから。	3.5%	2.6%	3.6%	4.5%	3.8%	4.6%	2.9%	5.8%	7.9%

(4) ⑥を選んだ理由は何ですか。

	小5		中1		中2				
	本市	本県	本市	本県	本市	本県			
	H27	H28	H27	H28	H27	H28			
① いつもそうしているから。	4.9%	1.7%	2.3%	6.3%	5.7%	6.6%	6.3%	7.0%	13.9%
② 聞いたり調べたりするのがめんどうだから。	4.7%	1.9%	2.7%	8.2%	5.2%	6.1%	5.7%	7.9%	13.9%
③ 分からないことをうまく伝えられないから。	6.9%	3.9%	4.0%	5.7%	4.6%	5.5%	3.3%	5.4%	9.6%
④ 聞きにくいから。	3.3%	2.4%	2.8%	5.8%	4.4%	5.9%	3.9%	4.9%	9.9%

【調査8】 分からないことが出てきたときの児童生徒の意識

平成27年度と比較して、授業中に分からないことが出てきた場合、そのままにしておく児童生徒がどの学年もやや減少した。また、小学5年と中学1年では、(4)で「① いつもそうしているから。」と回答した児童生徒が減少した。しかし、その一方で中学2年は増加しており、(3)で「③ だれにも聞くことができないから」、(4)で「③ 分からないことをうまく伝えられないから」、「聞きにくいから。」と回答した生徒が増加した。

教師は、互いに聞いたり教え合ったりする学び合える雰囲気や日々の授業づくりや学級経営の中で進めるとともに、個々のつまずきを詳細に把握し、個別の指導に十分時間をかける必要がある。

9 学習する中で楽しいと感じたり、やりがいを感じたりする時は、どんな時ですか。（複数回答可）

	小5		中1		中2	
	本市	本県	本市	本県	本市	本県
① 教科の学習(国語、算数など)	54.5%	53.5%	53.2%	51.7%	46.6%	46.0%
② 道徳や総合的な学習の時間	45.3%	44.3%	33.1%	33.0%	28.5%	30.1%
③ 特別活動(学級活動、学校行事など)	77.2%	76.5%	79.0%	79.2%	77.6%	78.2%
④ 楽しさや、やりがいを感じる時はない。	3.5%	4.1%	5.8%	5.6%	7.4%	7.2%

【調査9】 教科指導等に関する児童生徒の意識の状況

「① 教科の学習(国語、算数など)」は、どの学年も県の回答率を上回っている。「② 道徳や総合的な学習の時間」、「③ 特別活動(学級活動、学校行事など)」については、小5は県を上回っているが、中1はほぼ同程度であり、中2はやや下回っている。

教科の学習と同様に、道徳や総合的な学習の時間、特別活動についても一層の充実を図り、それぞれの目標の達成に向かう中で主体的に学習に取り組む態度や思考力・判断力・表現力等を育成したい。

10 あなたの学級では、授業のめあて（学習目標）を立てていますか。

	小5		中1		中2	
	本市	本県	本市	本県	本市	本県
① よくしている。	64.1%	63.5%	58.0%	58.0%	49.9%	53.8%
② どちらかといえばしている。	26.0%	26.2%	27.8%	28.1%	31.0%	30.3%
③ あまりしていない。	8.6%	8.8%	11.7%	11.2%	15.0%	12.3%
④ していない。	1.1%	1.2%	2.1%	2.4%	3.7%	3.3%
①と②の和	90.1%	89.7%	85.8%	86.1%	80.9%	84.1%

【調査10】「目標の明確化と学習課題の工夫」の状況

①と②の和が、どの学年も8割以上であるが、中学校では県の割合より低く、学年が上がるにつれて減少している。児童生徒の問いを生かした課題や、単元を通して追究する課題を設定するなど、教科や学習内容のねらいに応じて学習課題を工夫し、授業の目標を明確にするとともに、児童生徒がめあてを意識して学習に取り組むような指導・工夫が必要である。

11 授業の始めに、学習することを確認していますか。

	小5		中1		中2	
	本市	本県	本市	本県	本市	本県
① よくしている。	31.1%	31.7%	22.4%	22.2%	21.8%	22.2%
② どちらかといえばしている。	40.1%	39.6%	38.1%	38.6%	38.4%	38.9%
③ あまりしていない。	23.9%	23.7%	31.1%	30.4%	30.1%	29.3%
④ していない。	4.7%	4.8%	8.0%	8.4%	9.5%	9.2%
①と②の和	71.2%	71.3%	60.5%	60.8%	60.2%	61.1%

12 授業の終わりに学習内容を振り返る活動を行っていますか。

	小5		中1		中2	
	本市	本県	本市	本県	本市	本県
① よくしている。	35.2%	35.2%	21.1%	21.4%	16.0%	17.4%
② どちらかといえばしている。	33.4%	33.7%	36.8%	36.4%	34.4%	35.8%
③ あまりしていない。	25.2%	24.7%	31.8%	32.3%	38.3%	35.4%
④ していない。	6.0%	6.1%	9.9%	9.5%	11.0%	10.9%
①と②の和	68.6%	68.9%	57.9%	57.8%	50.4%	53.2%

【調査11, 12】「見通しと振り返りの活動の重視」に関する状況

どちらの設問も①と②の和が、小5と中1は県の割合とほぼ同じであるが、中2はやや県を下回っている。課題の解決に何が必要か、どう考えれば解決できそうか、どんな工夫をすればよさそうかなど学習の見通しを立てる活動や、板書やノートに書いたことを生かしてまとめをしたり、本時の思考過程(考えたこと)を整理したりするなどの効果的な振り返りの活動を、単元あるいは、単位時間の中で、計画的に位置付けることが、児童生徒の学ぶ意欲の向上や学習内容の定着につながる。

13 授業では、自分で考えたり、自分から進んで活動に取り組んだりしていますか。

	小5		中1		中2	
	本市	本県	本市	本県	本市	本県
① よくしている。	25.4%	26.6%	20.2%	19.5%	19.9%	17.0%
② どちらかといえばしている。	50.9%	49.6%	52.3%	50.4%	53.2%	47.5%
③ あまりしていない。	21.9%	21.7%	27.5%	26.3%	31.1%	27.9%
④ していない。	1.6%	1.7%	2.5%	2.5%	4.3%	3.6%
①と②の和	76.3%	76.2%	72.5%	69.9%	73.1%	64.5%

14 授業では、先生から教えてもらったことや友達と話し合ったことなどを通じて、自分の考えを深めたり広げたりすることができていますか。

	小5		中1		中2	
	本市	本県	本市	本県	本市	本県
① よくしている。	26.8%	25.8%	22.4%	20.6%	17.9%	15.0%
② どちらかといえばしている。	45.9%	45.9%	50.1%	47.8%	51.3%	46.5%
③ あまりしていない。	23.4%	24.5%	25.7%	26.2%	33.0%	29.2%
④ していない。	3.5%	3.4%	4.2%	4.1%	6.3%	5.3%
①と②の和	72.7%	71.7%	72.5%	68.4%	69.2%	61.5%

【調査13, 14】「主体的・協働的な学習活動の工夫」に関する状況

どちらの設問も①と②の和が、小5は県の割合をやや上回り、中1、中2は大きく上回っている。各学校において児童生徒の積極的な取組や思考を促す工夫の成果がうかがえる。学習活動の設定に当たっては、活発な雰囲気や児童生徒の表情など外見の様子を想定するだけに終わらないようにしたい。特に、基本的な知識・技能を活用して思考力・判断力・表現力等を発揮させる活動では、教科の特性や学習内容を踏まえて、どのような発言内容や取組内容を引き出すのかというねらいを明確にして活動を設定することが重要である。

※ 調査10～14は、県教育委員会が示している「授業改善のポイント」に沿った分析であり、『平成28年度鹿児島学習定着度調査結果報告書』(県教育委員会)を一部引用して作成した。「授業改善のポイント」については、県教委HP「学校教育」学力)確かな学力の定着)学びの羅針盤・授業改善のポイント」を参照し、各学校における共通実践に生かしていただきたい。

## かごんま よか授業 授業づくり編



### 児童生徒主体の学びになる授業づくりのポイント

授業づくりは、いつも接している児童生徒のことを考え、創意工夫することが大切です。このリーフレットには、教師主導型の授業から児童生徒主体の学びへの転換を図るための授業づくりのポイントが示されています。参考にして取り組んでください。



本時のねらいを明らかにしておこう。

授業づくりのポイント	留意点
① 本時の目標の設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書、指導計画、指導書等を参考にすると共に、児童生徒の実態を踏まえながら設定していきます。</li> <li>教材文の段落・構成、語句、言語材料等の分析、授業で取り上げる資料の吟味、予備実験や予備調査が大切です。</li> </ul>
② 目指す児童生徒の姿の想定	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業終了間際に児童生徒が何と言えれば今日の授業は概ね成功したと判断できるのか、児童生徒の発言内容や具体的な姿を想定します。</li> </ul>
③ 本時のまとめの作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>①と②を踏まえて、本時終末に板書するまとめを考えます。その際は、児童生徒の発言でまとめることを想定して考えます。</li> </ul>
④ 本時の「めあて」の設定 ※「めあて」は、学習課題や学習目標など教科によって呼び方が異なります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>まとめと整合するように、学習課題（学習問題、めあて）を考えます。</li> <li>「どうして、～なのだろうか。」「～するには、どうしたらよいのだろうか。」といった問題意識を想定し、設定します。</li> </ul>



導入では、児童生徒に気付きや疑問をもたせよう。

	授業づくりのポイント	留意点
導入	⑤ 児童生徒を「めあて」へ向かわせるための導入の手立て	<ul style="list-style-type: none"> <li>導入では、児童生徒に気付きや疑問をもたせ、表出させる手立てが必要です。</li> <li>【例】 <ul style="list-style-type: none"> <li>提示物の観察や分析などに取り組みさせる。</li> <li>本時の課題と既習事項とを比較させる。</li> <li>前時の学習を振り返らせる。</li> <li>本時に関わる既習事項を学び直す場を設定する。</li> <li>ICTを用いて、資料等を効果的に提示する。</li> </ul> </li> </ul>
	⑥ 「めあて」設定後、自分の考えをもたせるための手立て	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えを明確にさせ、解決の見通しをもたせませ。</li> <li>【例】 <ul style="list-style-type: none"> <li>ペアで解決方法等について、少し話し合わせる。</li> <li>代表の児童生徒に考えを少しだけ紹介させる。</li> <li>既習事項や生活経験を生かして、予想や仮説を立てる。</li> </ul> </li> </ul>



児童生徒同士の学び合いによって、何かを発見させよう。

	授業づくりのポイント	留意点
展開	⑦ 練り上げを充実させるための手立て	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒の意見交換が活性化する工夫が大切です。</li> <li>【例】 <ul style="list-style-type: none"> <li>話し合いの前に、自分のノートに考えを書かせる。</li> <li>簡潔で分かりやすい観点で話し合わせる。</li> <li>付箋などを使って、考えを可視化させる。</li> <li>時間内に話し合いが進むように活動の流れを掲示する。</li> </ul> </li> </ul>



児童生徒自身に授業を振り返らせよう。

	授業づくりのポイント	留意点
終末	⑧ 振り返りからまとめにつながるための手立て	<ul style="list-style-type: none"> <li>まとめでは、自己の変容に気付かせることが大切です。</li> <li>【例】 <ul style="list-style-type: none"> <li>授業の流れを最初から追いながら振り返るようにする。</li> <li>学習したことを活用させ、実感させるようにする。</li> <li>学び方の内容も振り返らせるようにする。</li> </ul> </li> </ul>